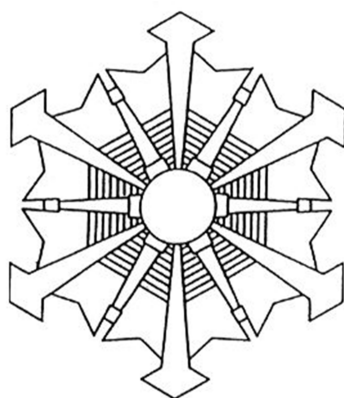


# 消防年報

令和4年度版



野田市消防本部

# は し が き

この年報は、令和4年度における野田市消防本部の現勢と消防諸般の状況を収録し、今後における消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

本年報は、特に記載のあるものを除き原則会計年度とし、火災・救急に関するものは暦年により表したものです。

令和5年5月

野田市消防本部

# 野 田 市 民 憲 章

昭和55年5月3日制定

- 1 郷土の自然を愛し、平和で安全な環境を守ります。
- 2 たがいに助け合い、すべての市民の幸福を願います。
- 3 からだをきたえ、仕事に励み、楽しい家庭をつくります。
- 4 きまりを守り、信頼と愛情を深め、心豊かな社会を築きます。
- 5 教養と文化を高め、自由と希望に満ちた郷土をめざします。

市の木



けやき

昭和45年10月17日指定

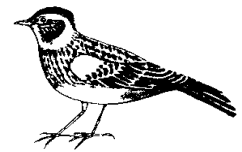
市の花



つつじ

昭和60年5月3日指定

市の鳥



ひばり

昭和60年5月3日指定

## 人権・平和尊重都市宣言

### 個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市宣言

わたしたち野田市民は、日本国憲法、地方自治法の基本理念に則り、地域の個性を生かしながら、基本的人権を尊重し、平和を尊ぶ野田らしいまちづくりに懸命に努力を続けている。

日本国憲法、地方自治法施行50周年の節目にあたり、わたしたちは両法の重要性を再認識するとともに、市民憲章の精神、平和祈念碑の碑文の精神を育みつつ、豊かな自然と歴史を生かした健康的な文化都市を目指すために、ここに野田市を「個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市」とすることを宣言する。(平成9年5月5日制定)

総 括 表

消防本部・消防署	消防本部設置 昭和29年10月11日		令和4年度	一般会計歳出予算		53,171,000 千円	
				消防費当初予算		1,954,668 千円	
	消防署数	1		一般会計に対する割合		3.7 %	
	分署(所)数	4分署1出張所		消防費	市民1人あたり	12,805 円	
	消防職員数	190人			1世帯あたり	27,732 円	
	消防長	専任		区分		本部・署	団
消防団	分団数	30分団26部	消防ポンプ自動車		5	14	
	消防団員数	597人	水槽付消防ポンプ自動車		4		
面積		103.55 km <sup>2</sup>	消防機械	小型動力ポンプ付水槽車		1	
令和2年国勢調査人口		152,638人		化学消防ポンプ自動車		1	
令和4年4月1日人口		153,529人		はしご車		1	
令和4年4月1日世帯		70,482世帯		救助工作車		2	
火災	出火件数	44件		救急自動車(高規格救急車)		8	
	建物火災	25件		小型動力ポンプ付積載車			43
	損害額	217,790千円		指揮車		1	1
	建物焼損床面積	2,311.31 m <sup>2</sup>		広報車		2	1
人口1万人当たりの出火件数		2.8件		その他		16	
救急	救急出動件数	9,405件		計		41	59
	急病	6,572件	消防無線設備	基地局		1	
	交通事故	533件		陸上移動局	可搬型 (卓上型含)	2	
	上記以外	2,300件			車載型	31	
搬送人員	8,088人	携帯型			20		
消防水利	消火栓	2,122基	消防団受令機			63	
	基準	1,664基	災害優先電話		6		
	防火水槽	874基	危険物施設		590		
	基準	735基	防火対象物		4,205		
耐震性防火水槽		168基	中高層建築物		616		

# 目 次

## はしがき 野田市民憲章 総括表

### 概 要

- 1 野田市の位置、地勢 . . . . . 1
- 2 野田消防のあゆみ . . . . . //
- 3 消防組織 . . . . . 2
- 4 消防の沿革 . . . . . 3～12

### 総 務

- 1 消防本部組織図 . . . . . 13
- 2 消防職員の配置 . . . . . //
- 3 署所配置図 . . . . . 14
- 4 消防本部及び署所の施設概要 . . . . . 15
- 5 野田市の面積・人口・世帯数 . . . . . 16
- 6 消防力と地勢の比較 . . . . . //
- 7 予算の推移 . . . . . //
- 8 消防職員の勤続年数 . . . . . 17
- 9 消防職員の年齢 . . . . . //
- 10 委託教養 . . . . . 18
- 11 免許・資格保有状況 . . . . . 19
- 12 消防本部（署）事務分掌 . . . . . 20～22

### 予 防

- 1 防火対象物の現況 . . . . . 23
- 2 中高層建築物及び地階を有する建築物 . . . . . 24
- 3 建築同意事務処理状況 . . . . . 25
- 4 消防法関係各種届出 . . . . . 26
- 5 火災予防条例関係届出 . . . . . 27

6	防火管理者の選任状況等	28
7	甲種防火管理新規講習会実施状況	〃
8	予防査察	29
9	危険物製造所等の数	30
10	数量・類別危険物製造所等の数	31
11	月別危険物製造所等の許可・検査等の数	32
12	危険物製造所等の申請手数料	33
13	火災予防広報活動	34
14	音楽隊活動	35

## 警 防

1	消防水利の現況	36
2	消防用車両の配置状況	37
3	資機(器)材一覧表	38～39
4	応援協定	40～41

## 消 防 団

1	消防団の組織	42
2	消防団員の配置	〃
3	消防団位置図	43
4	各分団分担区域及び器具置場所在地	44～45
5	消防団員の在職年数	46
6	消防団員の年齢	〃
7	消防団車両等の配置状況	47～48

## 火災統計

1	火災の状況	49
2	出火件数	50
3	月別火災状況	51
4	火災による損害額	52
5	初期消火器具等の使用状況	53
6	火災の通報状況	〃
7	出火原因別状況	54

8	火災発生時刻と件数	55
9	各年火災件数グラフ	56

## 救急統計

1	救急出動件数	57
2	人口と救急件数の推移	58～59
3	署所別救急出動件数	60
4	区域別救急出動件数	〃
5	曜日別救急出動件数	〃
6	搬送人員	61
7	医療機関別搬送人員	62
8	年齢別搬送人員	〃
9	講習会実施状況	〃

## 救助・その他

1	月別救助出動状況	63
2	事故種別活動状況	〃
3	その他災害出動	64

## 通信指令

1	通信指令装置の機器構成	65
2	消防用無線電話配置状況	66
3	119番通報受信件数	67
4	各種気象情報等受理状況	68

# 概 要





# 1 野田市の位置、地勢

野田市は、利根川と江戸川に挟まれた千葉県の北西端に位置し、関東平野のほぼ中央に位置します。面積は103.55平方キロメートルです。

市の最北端部で利根川と江戸川が分流し、東を利根川によって茨城県に、西を江戸川によって埼玉県に、南を明治時代に開削された利根運河によって、県内の柏市及び流山市に接し、三方を河川に囲まれた水と緑に恵まれた地域です。

# 2 野田消防のあゆみ

往年の野田町の消防は、キッコーマン株式会社の前身である町内の各醸造家が、明治20年にそれぞれ龍吐水を備えた（同27年腕用ポンプに切替）いわゆる自衛消防隊で、自工場はもちろん、町の火災にも出場した私設消防隊のみでした。

明治27年6月野田町消防組が設置されましたが、私設消防力に比し、ポンプ・人員とも劣弱なものでした。

その後、町有志のガソリンポンプの寄付等もあり、大正12年野田醤油株式会社の水道施設完成とともに、公設消防の機能が着々と充実していきました。

野田市は、昭和25年5月に野田町、旭村、梅郷村及び七福村の1町3村が合併して、県下8番目の市として誕生し、その後昭和29年10月に消防本部・消防署が設置されました。

昭和32年、川間村及び福田村が野田市に編入されました。

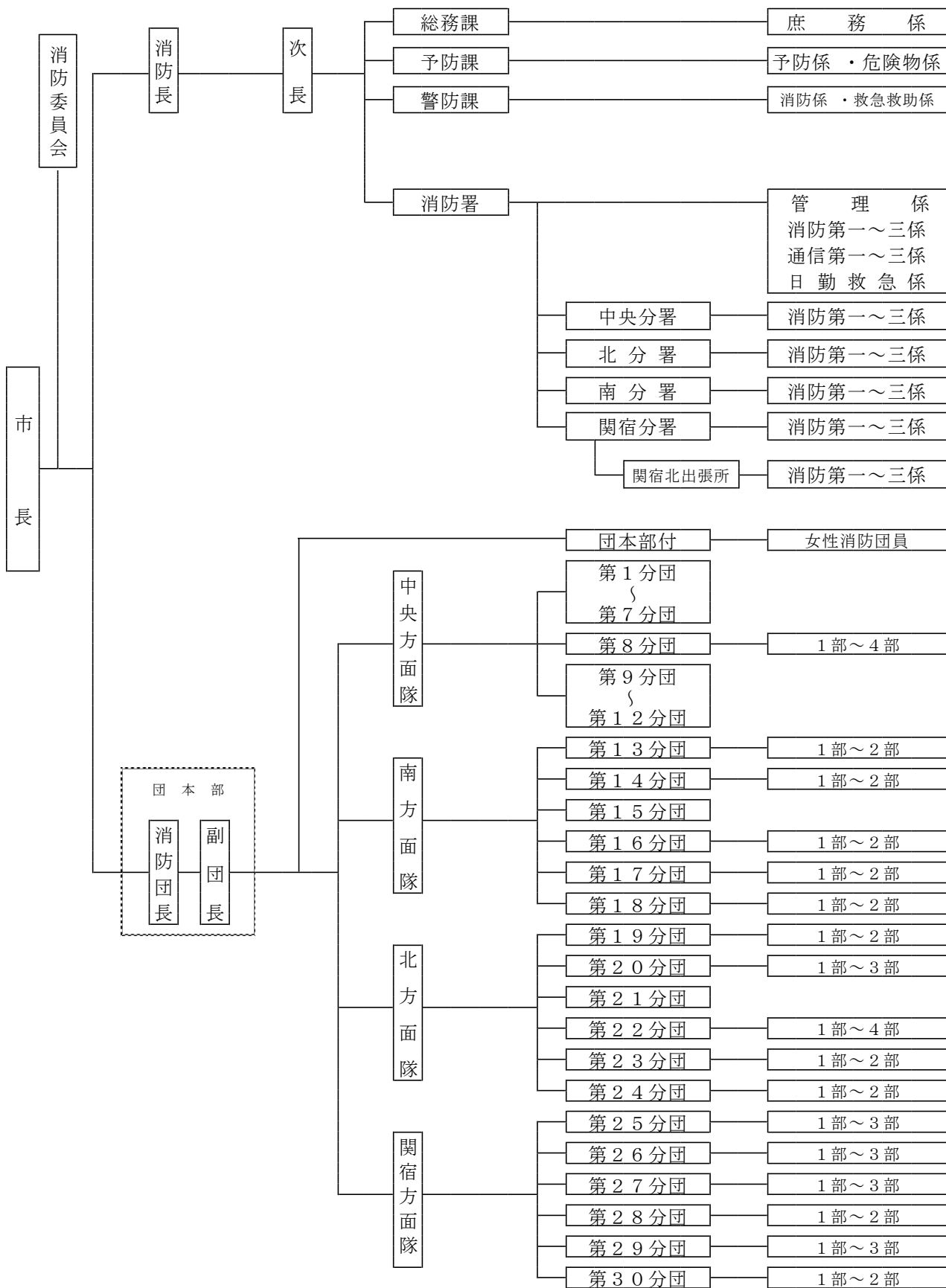
旧関宿町は、昭和30年に関宿町、二川村及び木間ヶ瀬村の1町2村が合併し、平成元年10月に関宿町消防本部（現在の野田市消防署関宿分署）が設置されました。

その後、平成15年6月6日、関宿町が野田市に編入合併され、新「野田市」が誕生しました。

合併により、常備・非常備消防共に統一が図られ、今日の消防体制となっています。



### 3 消防組織



## 4 消防の沿革

明治 27年 (1894)	6月	野田町消防組設置 3部制、組員195名 初代組頭 茂木啓三郎氏就任
大正 12年 (1923)	5月	野田町消防組 7部制、組員365名
大正 15年 (1926)		野田町消防組本部設置 団員377名
昭和 2年 (1927)	6月	組頭 茂木房五郎氏就任
昭和 10年 (1935)	4月	野田町消防救護班設置 班員358名
昭和 14年 (1939)		消防組を解散し、警防団に改組 7ヶ分団253名 初代警防団長 茂木房五郎氏就任
昭和 19年 (1944)	5月	第2代警防団長 小林庄太郎氏就任(町長兼務)
昭和 20年 (1945)	4月	常備消防部設置 機関員2名、専任外部団員交代で5名勤務する
	10月	常備消防専任職員10名採用
昭和 22年 (1947)	8月	消防団に改組 初代消防団長 高梨小一郎氏就任 7ヶ分団176名
	9月	カスリン台風により利根川堤防決壊し、北埼玉、北葛飾一帯大洪水 消防団等による被災者の救援活動
昭和 24年 (1949)	7月	常備消防詰所新築(木造平家建) 建築費420千円
昭和 25年 (1950)	5月	一町三ヶ村合併し市制施行。常備消防職員10名 消防団は4部団制24ヶ分団、団員612名 消防委員会発足 初代消防委員長 茂木芳次郎氏就任
	7月	治安委員長 茂木邦吉氏就任
	12月	常備消防専用消防ポンプ自動車(いすゞ市原)購入 (それまでは各分団の車両を借用していた)
昭和 27年 (1952)	11月	全国初の円筒形鉄筋コンクリート望楼竣工、高さ33m 建築費1,692千円
昭和 28年 (1953)	3月	常備消防専任職員16名
	8月	消防団員842名
昭和 29年 (1954)	6月	治安委員長 中島剛一氏就任
	7月	常備消防専任職員22名
	10月	消防本部及び消防署設置 初代消防長 戸辺織太郎氏就任(市長兼務)
昭和 30年 (1955)	10月	消防職員定数改正26名
昭和 31年 (1956)	1月	消防用中短波陸上無線機購入(基地局1、移動局1)
昭和 32年 (1957)	3月	消防職員定数改正30名
	4月	2代消防長 地曳由松氏就任 2ヶ村合併 消防団6部団制38ヶ分団、団員1,013名
昭和 34年 (1959)	1月	野田市危険物安全協会設立 初代会長 茂木芳次郎氏就任
	4月	消防職員定数改正33名
昭和 35年 (1960)	6月	救急自動車(シボレー)消防署に配備し、救急業務を開始
昭和 36年 (1961)	4月	3代消防長 八角治一氏就任
	9月	消防職員定数改正36名
昭和 38年 (1963)	2月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(火災保険号) 寄贈
	6月	野田市防災会議条例制定
昭和 39年 (1964)	3月	消防職員定数改正40名
	9月	救急自動車(ニッサン)購入 消防署に配置
昭和 40年 (1965)	9月	水槽付(1,700ℓ)消防ポンプ自動車(いすゞ)購入 消防署に配置

昭和 41年 (1966)	11月	消防用無線電話基地局 1 陸上移動局 3 購入 消防本部に配置
昭和 43年 (1968)	7月	ジープ(いすゞパトロール車)司令車として購入 消防本部に配置
	8月	消防団 1 の 2 分団器具置場新築移転
昭和 44年 (1969)	4月	4 代消防長 金坂政雄氏就任
	9月	消防職員定数改正 6 0 名
	12月	救急自動車 (2 B 型) 購入 消防署に配置
昭和 45年 (1970)	5月	野田市危険物安全協会を野田市消防防災協会に改称
	6月	消防本部・署の庁舎新築 鉄筋コンクリート 3 階建 1, 0 3 2 m <sup>2</sup> 建築費 5, 4 4 0 万円 1 本部 1 署 1 分署体制となる
	12月	消防団旗新調購入
昭和 46年 (1971)	4月	消防署中央分署庁舎新築 鉄筋コンクリート 2 階建 3 2 5 m <sup>2</sup> 建築費 1, 9 6 5 万円 化学消防ポンプ自動車 I 型購入 中央分署に配置
	9月	2 代消防団長 茂木克己氏就任
	10月	消防団に名誉消防団長制度を設ける 消防団 2 の 7、5 の 1 分団器具置場新築
	12月	前消防団長 高梨小一郎氏を名誉消防団長に推戴する
	昭和 47年 (1972)	4月
昭和 48年 (1973)	9月	消防職員定数改正 6 6 名
	3月	消防団 5 の 4 分団器具置場新築
	4月	救急自動車 (2 B 型) 装備一式日本自動車工業会から寄贈 消防署に配置 消防団 6 の 4、6 の 5 分団器具置場新築
昭和 49年 (1974)	6月	救急自動車 (2 B 型) 装備一式千葉県農業協同組合連合会から寄贈 中央分署に配置
	2月	消防団 4 の 2 分団器具置場新築
	3月	救助隊を編成する (隊員 2 6 名)
昭和 50年 (1975)	4月	消防職員定数改正 7 0 名
	7月	広報自動車 (日産) S T B 5 0 W 装備付 本部に配置
	2月	消防団 4 の 1 分団器具置場新築
	4月	消防団 2 ケ分団増設 4 0 ケ分団編成 消防音楽隊発足 (隊員 1 1 名)
	5月	消防団 4 の 6 分団器具置場新築
	7月	第 4 回消防救助技術関東大会 (高所人命救助) 出場
	11月	消防団 6 の 2 分団器具置場新築
昭和 51年 (1976)	5月	救急自動車 (2 B 型) 装備一式ロータリークラブから寄贈 消防署に配置
	8月	6 代消防長 日佐戸善吉氏就任 第 5 回消防救助技術関東大会 (高所人命救助) 1 位
	9月	第 5 回消防救助技術全国大会 (高所人命救助) 2 位 消防団積載車及び分団器具置場 3 ケ年整備計画開始
	10月	消防団員定数改正 9 2 6 名
	昭和 52年 (1977)	6月
昭和 52年 (1977)	7月	第 6 回消防救助技術関東大会 (高所人命救助) 1 位
	8月	第 6 回消防救助技術全国大会 (高所人命救助) 3 位
	10月	はしご車 (24m 級) 森田式 ME5D 型 (A II) 購入 3, 9 9 5 万円消防署配置 消防団員定数改正 8 8 6 名
	12月	消防団積載車 5 台購入配置 消防団 1 の 6、3 の 2、3 の 3、3 の 4、5 の 5 分団器具置場新築

昭和 53年 (1978)	9月	初代消防委員長 茂木芳次郎氏就任
	10月	消防団員定数改正 8 4 9 名
	12月	消防団積載車 5 台購入配置 消防団 2 の 3、2 の 8、6 の 1、6 の 6 分団器具置場新築 司令車(三菱ジープ)H-J 2 6 ロータークラブから寄贈 中央分署に配置
昭和 54年 (1979)	7月	第 8 回消防救助技術関東大会(高所人命救助) 2 位
	8月	第 8 回消防救助技術全国大会(高所人命救助) 出場
	12月	消防団積載車 6 台購入配置 消防団 2 の 2、2 の 4、3 の 5、4 の 3、4 の 4、4 の 5、5 の 8、6 の 3 器具置場新築 3 ヶ年整備計画完了
昭和 55年 (1980)	1月	消防団 5 の 7 分団器具置場新築
	5月	3 代消防団長 中野孝三郎氏就任
	7月	消防広報車 野田市消防防災協会から寄贈 本部に配置 第 9 回消防救助技術関東大会(高所人命救助) 1 位
	8月	第 9 回消防救助技術全国大会(高所人命救助) 2 位 消防団員定数改正 8 2 2 名
	9月	消防職員定数改正 9 4 名 2 代消防委員長 高梨兵左衛門氏就任
	10月	水槽付(1,600ℓ)消防ポンプ自動車 1 台 日本損害保険協会から寄贈
昭和 56年 (1981)	3月	北分署庁舎新築 鉄筋コンクリート 2 階建453㎡ 建築費84,720千円
	4月	消防本部機構改革(課制を布く) 1 本部 1 署 2 分署体制となる
	7月	第 1 0 回消防救助技術関東大会(高所人命救助) 1 位
	8月	第 1 0 回消防救助技術全国大会(高所人命救助) 1 位
昭和 57年 (1982)	4月	消防団 1 の 5 分団器具置場新築
	6月	人員輸送車(日産)購入 本部に配置
	7月	第 1 1 回消防救助技術関東大会(高所人命救助) 出場
	8月	第 1 1 回消防救助技術全国大会(高所人命救助) 出場
	10月	9 人乗りマイクロバス(日産) 1 台 (財)日本防火協会から寄贈
昭和 58年 (1983)	11月	救助工作車Ⅱ型(日野)購入 消防署に配置
	4月	千葉県防災行政無線(60MZT/R無線電話装置TR2FID-7F型) 設置
	7月	第 1 2 回消防救助技術関東大会(高所人命救助) 出場
	8月	第 1 2 回消防救助技術全国大会(高所人命救助) 出場
	9月	第 2 回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で 1 の 5 分団優秀賞
昭和 59年 (1984)	12月	化学消防ポンプ自動車Ⅰ型(1,200ℓ+300ℓ)購入 中央分署に配置
	7月	第 1 3 回消防救助技術関東大会(高所人命救助) 1 位
	8月	第 1 3 回消防救助技術全国大会(高所人命救助) 1 位
	9月	消防団員定数改正 7 2 9 名 消防職員定数改正 1 1 3 名
	11月	水槽付(1,500ℓ)消防ポンプ自動車購入 南分署に配置
昭和 60年 (1985)	2月	救急自動車(2B型)購入 消防署に配置
	3月	南分署庁舎新築 鉄筋コンクリート平家建365㎡ 建築費76,980千円 1 本部 1 署 3 分署体制となる 消防団 1 の 7 分団器具置場新築移転
	7月	第 1 4 回消防救助技術関東大会(高所人命救助) 1 位
	8月	第 1 4 回消防救助技術全国大会(高所人命救助) 3 位

昭和 61年 (1986)	10月	消防団員定数改正 6 7 1 名
	11月	水槽付(1,500)消防ポンプ自動車購入 消防署に配置
	12月	消防総合通信システム 3ヶ年整備計画、初年度事業費34,700千円
	3月	消防団 2 の 6 分団器具置場新築移転
	4月	7 代消防長事務取扱 齊藤光平氏就任 (市助役)
	6月	8 代消防長 竹本仁氏就任 消防団員定数改正 6 4 0 名
	7月	第 1 5 回消防救助技術関東大会 (高所人命救助) 1 位
	8月	第 1 5 回消防救助技術全国大会 (高所人命救助) 2 位
	10月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入 4 の 6 分団に配置
	12月	救急自動車(2B型)購入 中央分署に配置 消防総合通信システム第2年度事業費14,110千円 水槽付(1,700)消防ポンプ自動車購入 中央分署に配置
昭和 62年 (1987)	4月	4 代消防団長 高梨眞一郎氏就任 消防本部・署機構改革 救急自動車(2B型)装備一式利根コカコーラ株式会社から寄贈 消防署に配置
	11月	消防ポンプ自動車(CD-II)購入 1 の 2 分団に配置
	12月	消防総合通信システム第3年度(地図検索装置)事業費15,500千円
昭和 63年 (1988)	2月	消防団 5 の 2 分団器具置場新築
	11月	3 代消防委員長 茂木克己氏就任
	12月	小型動力ポンプ付水槽車(10 t)購入 消防署に配置
平成 元年 (1989)	2月	野田市消防防災協会創立30周年記念事業として乗用車 1 台寄贈、本部に配置
	3月	消防団 2 の 5 分団器具置場新築移転
	8月	ひとり暮らし老人等緊急通報システム運用開始
	9月	小型動力ポンプ付積載車購入 5 の 4 分団に配置 小型動力ポンプ積載車 3 台購入 2 の 7、3 の 3、6 の 4 分団に配置
	12月	消防ポンプ自動車(CD-II)購入 1 の 5 分団に配置
平成 2年 (1990)	3月	消防団専用波無線局導入(団長局 1 局 携帯局 6 局)
	7月	広報車(日産)購入 本部予防課に配置 小型動力ポンプ(B-3) 3 台購入 2 の 3、5 の 7、5 の 8 分団に配置
	10月	第 1 9 回消防救助技術関東大会 (高所人命救助) 3 位 小型動力ポンプ積載車購入 4 の 1 分団に配置 小型動力ポンプ付積載車購入 5 の 6 分団に配置 指揮車(トヨタ)購入 本署に配置
	11月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入 4 の 2 分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-II)購入 1 の 7 分団に配置
平成 3年 (1991)	3月	消防団 1 の 3 分団器具置場新築
	4月	9 代消防長 飯塚計男氏就任
	5月	野田ロータリークラブ及び野田東ロータリークラブから消防団指揮車(日産)を寄贈 団本部に配置
	7月	第 2 0 回消防救助技術関東大会 (高所人命救助) 出場
	8月	第 2 0 回消防救助技術全国大会 (高所人命救助) 2 位
	9月	救急自動車(2B型)購入 北分署に配置 消防ポンプ自動車 2 台購入 1 の 3、1 の 4 分団に配置 小型動力ポンプ付積載車 2 台購入 3 の 1、6 の 2 分団に配置



	7月	第15回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で4の2分団優良賞 〃 小型ポンプの部で5の4分団優秀賞
		第32回千葉県消防操法大会小型ポンプの部で5の4分団最優秀賞
		第25回消防救助技術関東大会(ほふく救出・斜めフリッジ救助)出場
	8月	第25回消防救助技術全国大会(ほふく救出・斜めフリッジ救助)出場
平成 9年 (1997)	10月	消防組織法改正に伴い野田市消防職員委員会を設置する
	2月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入 消防署に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入 1の1分団に配置
平成 10年 (1998)	7月	第16回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で4の2分団優秀賞 第33回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で4の2分団優秀賞 小型動力ポンプ(B-3)購入 2の7分団に配置
		第26回消防救助技術関東大会(ほふく救出)1位
	8月	第26回消防救助技術全国大会(ほふく救出)3位
	1月	高規格救急自動車購入 消防署に配置
	3月	消防団5の3分団器具置場新築
	6月	創立40周年記念として、野田市消防防災協会から連絡車1台寄贈、本部に配置
	7月	小型動力ポンプ(B-3)購入 3の3分団に配置 消防本部・署庁舎耐震補強工事完了
	9月	4代消防委員会会長 高梨兵左衛門氏就任
	11月	大型サイレンを櫓のホール屋上に設置
	平成 11年 (1999)	1月
3月		消防団1の1分団器具置場新築移転
7月		第18回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で4の2分団最優秀賞 第35回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で4の2分団優良賞 第28回消防救助技術関東大会(ほふく救出)出場
12月		小型動力ポンプ(B-3)付積載車購入 2の6分団に配置
平成 12年 (2000)	4月	12代消防長 中山啓介氏就任
	7月	小型動力ポンプ(B-2)購入 消防署に配置 第19回東葛飾支部消防操法大会小型ポンプの部で5の3分団最優秀賞 第29回消防救助技術関東大会(斜めフリッジ救助)出場
	8月	災害対策車(クレーン付)購入 消防署に配置
平成 13年 (2001)	12月	消防団員にアポロキャップ貸与
	3月	消防団2の7分団器具置場新築
平成 14年 (2002)	7月	第20回東葛飾支部消防操法大会小型ポンプの部で5の2分団最優秀賞
	3月	消防団5の1分団器具置場新築 救急自動車(2B型)購入 北分署に配置
	4月	消防職員定数改正124名 13代消防長 谷中卓美氏就任 6代消防団長 寺田和雄氏就任
平成 15年 (2003)	7月	第21回東葛飾支部消防操法大会小型ポンプの部で5の8分団最優秀賞
	1月	高規格救急自動車購入 南分署に配置
	4月	BANDOメディカルコントロール協議会設置
	5月	東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会設置
		第52回利根川水系連合水防演習(関宿町で開催)参加



平成 16年 (2004)	6月	消防無線基地局改修 6月6日関宿町を編入合併すると共に両消防団を統合する 関宿町消防本部庁舎を関宿分署とし、1本部1署4分署体制となる 消防職員定数改正163名、消防団員定数改正942名
	11月	自治体消防制度55周年記念式典参加
	3月	小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型 10t)購入 消防署に配置 水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-A型)・救急自動車(2B型)購入 関宿北出張所に配置 消防通信指令装置「高機能消防指令センター」の整備
平成 17年 (2005)	7月	関宿北出張所庁舎新築 鉄筋コンクリート平屋建て244.37㎡ 建築費68,250千円 1本部1署4分署1出張所体制となる 第33回消防救助技術関東大会(斜めブリッジ救助)出場
	9月	消防団員定数改正860名
	12月	はしご車(35m)購入 消防署に配置 救助工作車(Ⅱ型)購入 消防署に配置
	1月	野田市消防発足50周年記念消防出初式を挙行
	3月	常備消防50周年記念誌発行 はしご車用車庫新築(消防署) 鉄骨造平屋建て98.82㎡
平成 18年 (2006)	10月	野田セントラルロータリークラブから指令車(三菱軽自動車)を寄贈 消防本部に配置
	12月	小型動力ポンプ付積載車8台購入 11分団、15分団、17分団2部、23分団1部、 26分団1部、26分団2部、34分団、35分団に配置
	1月	消防ポンプ自動車(CD-I)5台購入 関宿分署、7分団、19分団2部、21分団、 32分団に配置
	3月	高規格救急自動車購入 中央分署に配置 (車体は社団法人日本自動車工業会より寄贈)
	4月	14代消防長 張能和男氏就任 7代消防団長 中野元市氏就任
平成 19年 (2007)	12月	消防団員用活動衣(860着)を更新整備 防寒衣(860着)を貸与
	2月	消防ポンプ自動車(CD-I)2台購入 3分団、4分団に配置 小型動力ポンプ付積載車5台購入 19分団1部、24分団1部、27分団、28分団、 37分団に配置
	3月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)2台購入 消防署、北分署に配置
	7月	小型動力ポンプ付積載車2台購入 13分団1部、16分団2部に配置
	10月	女性消防団員任命 消防団用指揮広報車購入 消防団本部に配置
平成 20年 (2008)	11月	高規格救急自動車購入 消防署に配置
	1月	予防査察車購入 予防課に配置
	3月	小型動力ポンプ付積載車7台購入 14分団2部、20分団1部、20分団2部、22分 団2部、22分団3部、29分団、33分団2部、に配置
	4月	15代消防長 佐賀悦男氏就任
	5月	野田市消防防災協会創立50周年記念事業として乗用車1台寄贈 消防本部に配置
	6月	第27回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で21分団最優秀賞 〃 小型ポンプの部で23分団1部最優秀賞
	7月	第44回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で21分団優秀賞 〃 小型ポンプの部で23分団1部努力賞
	12月	消防団18分団2部器具置場新築 高規格救急自動車購入 北分署に配置
平成 21年 (2009)	3月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-A型)購入 関宿分署に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入 6分団に配置

		小型動力ポンプ付積載車7台購入 8分団1部、8分団3部、14分団1部、18分団2部、23分団2部、26分団2部、27分団2部に配置
		消防団17分団2部器具置場新築
平成22年(2010)	7月	第28回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で19分団2部努力賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で22分団2部優秀賞 第45回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で22分団2部優良賞 第38回消防救助技術関東大会(引揚救助)出場
	12月	高規格救急自動車購入 関宿分署に配置 消防団用指揮車購入 中央分署に配置
	3月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入 9分団に配置
		小型動力ポンプ付積載車13台購入 8分団2部、8分団4部、12分団13分団2部、16分団1部、17分団1部、18分団1部、20分団3部22分団1部、22分団4部、24分団2部、27分団3部、30分団1部に配置
		消防団25分団1部器具置場新築
	4月	8代消防団長 近藤利夫氏就任
	7月	第29回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部21分団優良賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で22分団4部優秀賞 第46回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で22分団4部努力賞
平成23年(2011)	3月	消防ポンプ自動車(CD-I)3台購入 関宿分署、25分団1部、29分団1部に配置 水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)購入 南分署に配置 指揮車購入 消防署に配置 消防団29分団1部器具置場新築
		東日本大震災に伴う緊急消防援助隊千葉県隊として、救急隊2隊、後方支援隊2隊 合計11人を福島県福島市に派遣
	4月	16代消防長 関根和明氏就任 東日本大震災に伴う緊急消防援助隊千葉県隊として、救急隊2隊、後方支援隊2隊 合計10人を福島県福島市に派遣
平成24年(2012)	3月	化学消防ポンプ自動車(II型)購入 北分署に配置 小型動力ポンプ付積載車購入 南分署に配置 消防団20分団3部器具置場新築
	4月	消防職員定数改正165名
	7月	指揮広報車購入 警防課に配置
	10月	5代消防委員会会長 寺田和雄氏就任
	12月	高規格救急自動車購入 南分署に配置
平成25年(2013)	3月	消防ポンプ自動車(CD-I型)2台購入 消防署及び1分団に配置 救助工作車(II型)購入 関宿分署に配置 消防団30分団2部器具置場新築
	4月	17代消防長 藤井文明氏就任 千葉北西部消防指令センター運用開始 野田市、流山市、松戸市、市川市、浦安市、鎌ヶ谷市
	6月	第32回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で21分団優秀賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で23分団1部優秀賞
	7月	第49回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で21分団優良賞
	10月	高規格救急自動車購入 関宿北出張所に配置
平成26年(2014)	3月	消防団21分団器具置場新築
	4月	18代消防長 深井芳人氏就任 9代消防団長 中田弘二氏就任 水難救助業務(潜水活動)開始(隊員15名)

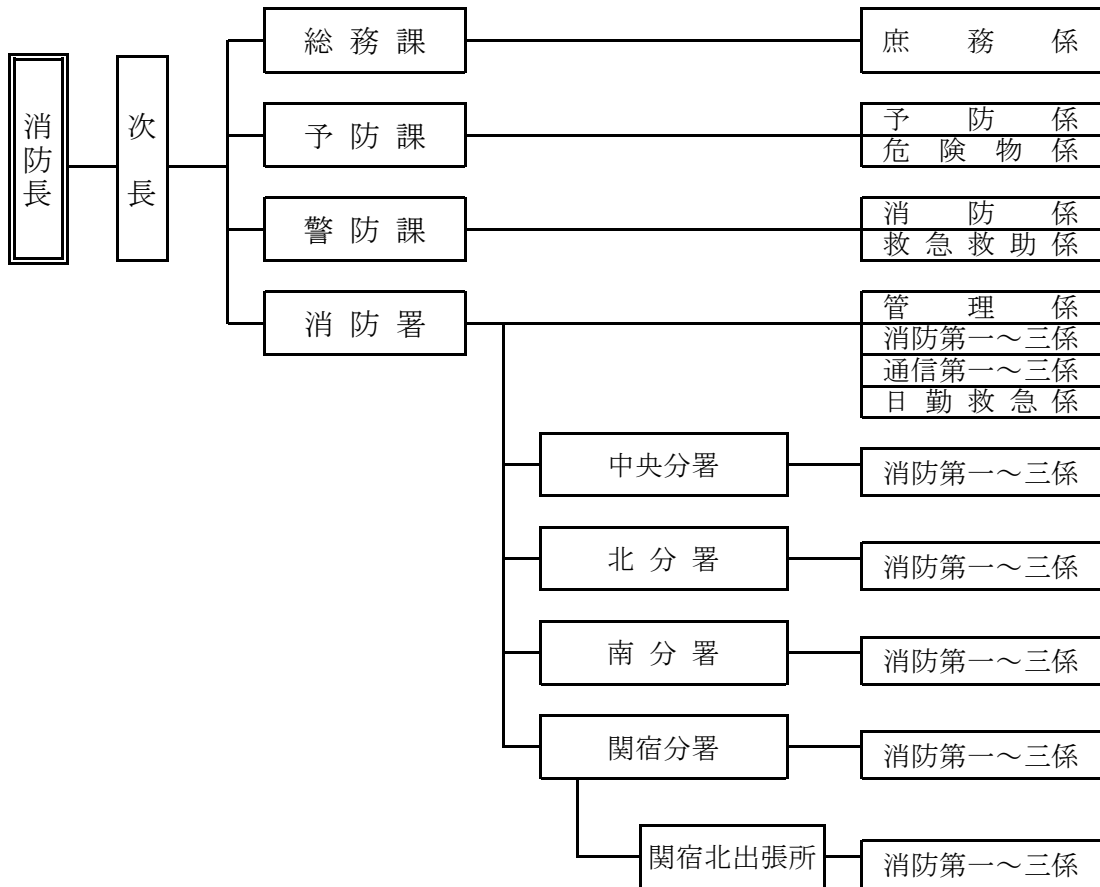
平成27年 (2015)	7月	消防署中央分署及び北分署庁舎耐震診断調査実施
	3月	水槽付消防ポンプ自動車 (CD-I型) 購入 中央分署に配置 消防ポンプ自動車 (CD-I型) 購入 10分団に配置 消防団器具置場新築 25分団3部、26分団3部
	6月	消防職員定数改正172名 第34回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で5分団優秀賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で24分団2部努力賞
平成28年 (2016)	7月	第51回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で5分団最優秀賞 消防長専用車更新 (長期継続契約) 総務課に配置
	9月	野田市消防団協力事業所表示制度制定
	12月	高規格救急自動車購入 中央分署に配置
	1月	野田市消防団条例一部改正
	3月	支援車 (II型) 購入 消防署に配置 消防団器具置場新築 16分団2部、28分団2部
	4月	10代消防団長 染谷賢一氏就任
平成29年 (2017)	6月	第35回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で19分団2部努力賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で22分団1部優良賞
	7月	人員搬送車 (長期継続契約) 消防署に配置
	3月	消防団器具置場新築 25分団2部、30分団1部
	6月	第36回東葛飾支部消防操法大会 ポンプ車の部で21分団努力賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で23分団1部優秀賞
	7月	第53回千葉県消防操法大会 小型ポンプの部で23分団1部努力賞
	10月	救急普及啓発広報車 一般財団法人救急振興財団から寄贈 警防課に配置 高規格救急自動車購入 消防署に配置
平成30年 (2018)	3月	自治体消防制度70周年記念式典参加 消防団器具置場新築 18分団1部、20分団2部
	4月	19代消防長 小島雅之氏就任
	6月	第37回東葛飾支部消防操法大会 ポンプ車の部で19分団2部努力賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で22分団2部努力賞
	10月	高規格救急自動車購入 北分署に配置
平成31年 (2019)	3月	消防団器具置場新築 27分団1部、29分団3部
	4月	20代消防長 菅野 透氏就任 消防職員定数改正181名
令和元年 (2019)	5月	水槽付消防ポンプ自動車 (I-A型) 購入 関宿北出張所に配置
	6月	消防委員会条例改正 第38回東葛飾支部消防操法大会 ポンプ車の部で21分団優良賞 〃 〃 〃 小型ポンプの部で17分団1部努力賞
	7月	第48回消防救助技術関東大会 (引揚救助) 7位
	8月	第48回消防救助技術全国大会 (引揚救助) 出場
	11月	高規格救急自動車購入 関宿分署に配置
令和2年 (2020)	2月	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 (総務省所管に属する無償貸付車両) 5分団に配置
	3月	消防団器具置場新築 6分団、27分団2部 高機能救命ボート (緊急消防援助隊に係る国有財産等の無償使用) 関宿分署に配置
	4月	消防職員定数改正198名
	6月	無人航空機 (ドローン) 2機購入 消防署に配置
	8月	水難救助隊 (隊員15名) 発隊

令和3年 (2021)	1月	高規格救急自動車購入 消防署日勤救急隊に配置
	2月	ちば北西部消防指令センター（10市）運用開始 日勤救急隊運用開始
		消防団器具置場新築 14分団1部、26分団1部
	4月	消防団員定数改正720名
	11月	消防団器具置場新築 19分団2部
令和4年 (2022)	4月	11代消防団長 逆井健一氏就任
	6月	第41回東葛飾支部消防操法大会 小型ポンプの部で22分団3部努力賞
	9月	高規格救急自動車購入 南分署に配置
	11月	第6回緊急消防援助隊全国合同訓練参加（救助小隊） 静岡県 令和4年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練参加（救助小隊） 埼玉県
		消防団器具置場新築 28分団1部
令和5年 (2023)	1月	救助工作車（Ⅱ型）購入 消防署に配置

# 総務



## 1 消防本部組織図



## 2 消防職員の配置

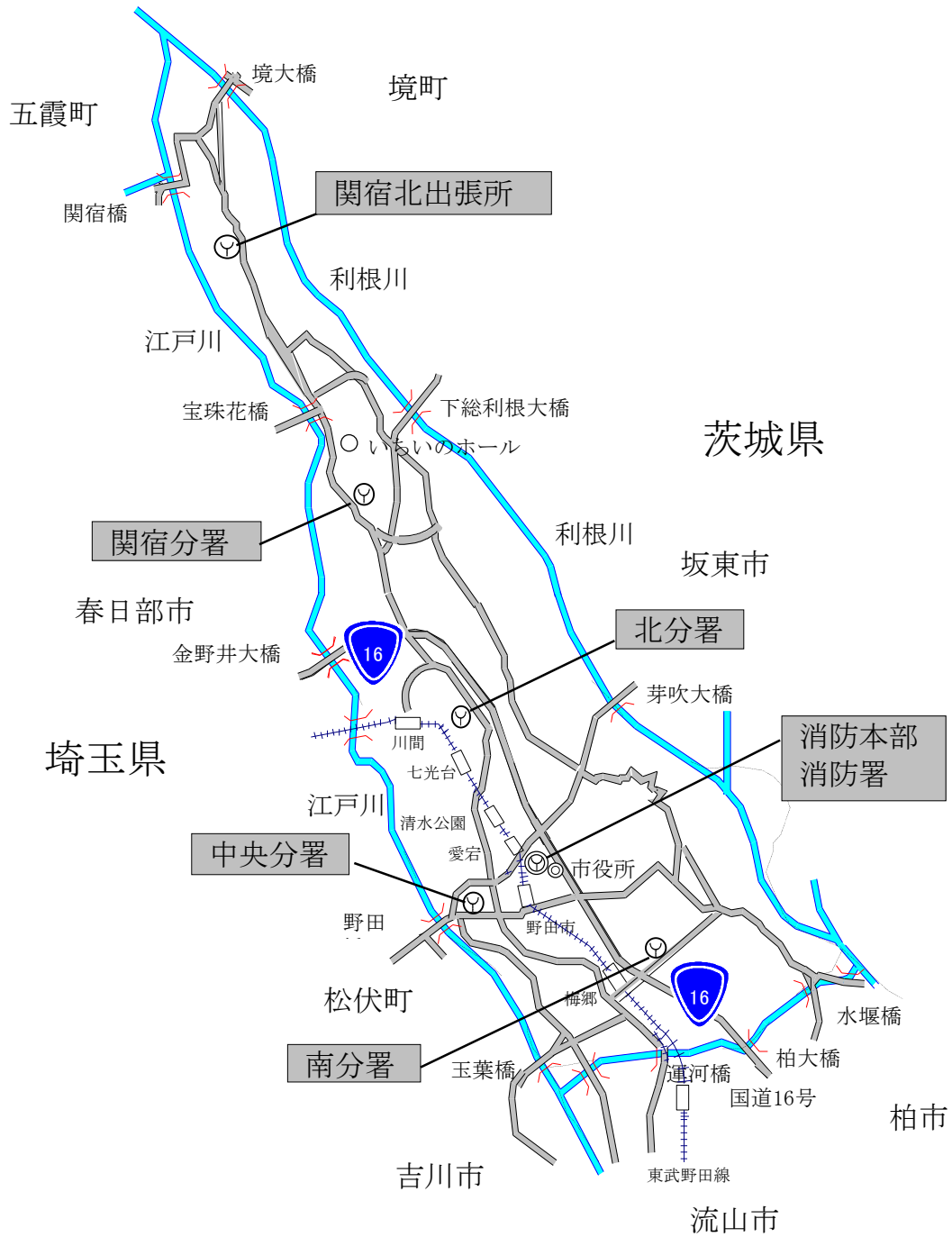
(令和4年4月1日現在)

階級 所属		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
		本部	消防長	1						
次長			(1)							(1)
総務課			2	3	3	1			1	10
予防課			3	2	3			4		12
警防課			2	2	2		1		1	8
小計	1		7	7	8	1	1	4	2	31
消防署	消防署		2	8	11	8		20		49
	中央分署		1	3	3	3		12		22
	北分署		1	3	5	3		10		22
	南分署		1	3	4	4	2	8		22
	関宿分署		1	3	9	3	1	17		34
	関宿北出張所			4		1	2	3		10
小計		6	24	32	22	5	70		157	
合計		1	13	31	40	23	6	74	2	190

※ 次長は署長兼務、その他の職員は、再任用職員

条例定数198名

### 3 署所配置図



## 4 消防本部及び署所の施設概要

### 消防本部・消防署



所在地	野田市宮崎126-2
敷地面積	2,327.00m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
延床面積	994.09m <sup>2</sup>
竣工年月	昭和45年6月

### 中央分署



所在地	野田市中野台172
敷地面積	501.43m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延床面積	325.60m <sup>2</sup>
竣工年月	昭和46年4月

### 北分署



所在地	野田市船形1550-2
敷地面積	1,178.17m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延床面積	424.74m <sup>2</sup>
竣工年月	昭和56年3月

### 南分署



所在地	野田市二ツ塚139-91
敷地面積	1,358.52m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上1階
延床面積	351.68m <sup>2</sup>
竣工年月	昭和60年3月

### 関宿分署



所在地	野田市東宝珠花435-1
敷地面積	3,616.11m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延床面積	1,276.20m <sup>2</sup>
竣工年月	平成3年3月

### 関宿北出張所



所在地	野田市西高野451-4
敷地面積	600.00m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上1階
延床面積	244.37m <sup>2</sup>
竣工年月	平成16年7月



## 5 野田市の面積・人口・世帯数

(令和4年4月1日現在)

人口	世帯数	面積
153,529	70,482	103.55km <sup>2</sup>

## 6 消防力と地勢の比較

(令和4年4月1日現在)

消防吏員1人当たり			消防団員1人当たり			消防ポンプ自動車1台当たり		
(実員190人)			(実員597人)			(現有10台)		
人口	世帯数	面積(km <sup>2</sup> )	人口	世帯数	面積(km <sup>2</sup> )	人口	世帯数	面積(km <sup>2</sup> )
808	370	0.54	257	118	0.17	15,352	7,048	10.36

## 7 予算の推移 (過去5年間)

(各年4月1日現在 単位：千円)

年度	一般会計 当初予算 A	消防予算 当初予算 B	構成比 B/A	消防予算内訳					市民1人当たり 消防予算 (円)
				常備 消防費	非常備 消防費	消防 施設費	水防費	災害 対策費	
30	47,811,000	1,932,195	4.0%	1,518,651	100,006	266,624	3,427	43,487	12,518
31	49,087,000	1,893,395	3.9%	1,562,107	100,656	168,816	7,268	54,548	12,263
R2	51,566,000	1,803,365	3.5%	1,525,118	111,627	121,379	2,349	42,892	11,685
R3	50,972,000	1,789,933	3.5%	1,545,853	86,720	112,346	1,123	43,891	11,612
R4	53,171,000	1,954,668	3.7%	1,545,632	76,683	278,525	829	52,999	12,805

## 8 消防職員の勤続年数

(令和4年4月1日現在)

階級 勤続年数	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
5年未満		2			1		52	2	57
5年以上10年未満	1					1	22		24
10年以上15年未満					17	5			22
15年以上20年未満				12	5				17
20年以上25年未満				12					12
25年以上30年未満			5	10					15
30年以上		11	26	6					43
合計	1	13	31	40	23	6	74	2	190

## 9 消防職員の年齢

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
20歳未満							4		4
20歳以上25歳未満							49		49
25歳以上30歳未満					4	6	21		31
30歳以上35歳未満					10				10
35歳以上40歳未満				10	8				18
40歳以上45歳未満				13	1				14
45歳以上50歳未満			4	13					17
50歳以上55歳未満		1	15	3					19
55歳以上	1	12	12	1				2	28
合計	1	13	31	40	23	6	74	2	190

# 10 委託教養

区分		年度				
		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
消防 大学 校	幹部科			1		
	警防科					
	救急科			1		
	救助科	1				
	危険物科					
	火災調査科		1			
	消防団活性化推進コース		1	1		
	自主防災組織育成短期コース			1		
	査察業務マネジメントコース			1		
救急救命士(養成)東京研修所		2	2	2	2	2
救急救命士(薬剤投与)九州研修所						
救急救命士(指導救命士)九州研修所		1	1	1		
救急救命士(処置拡大追加講習)東京研修所						
千葉 県 消 防 学 校	初任科	10	8	6	13	12
	危険物科			1		
	予防査察科(予防課程含む)			1	2	1
	火災調査科	1	1	1	1	1
	救助科	2	2	2	1	1
	訓練指導科	2	2		2	2
	特殊災害科	2	2	2	1	1
	救急科 (救急標準課程・II課程含む)	3	10	6	12	13
	救急救命士処置範囲拡大 2行為追加講習					
	上級幹部科					
	中級幹部科	1	1	1		
	幹部特別研修科					
	はしご自動車等講習会	2	2	2	1	1
	水難救助科		1	1	2	1
	一般救命士再教育		1			
	薬剤投与認定救命士再教育			1		
救急隊長再教育		1	1			
合計(人)		27	36	33	37	33

# 1 1 免許・資格保有状況

(令和4年12月31日現在)

種 別		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計	
運 転 免 許	普通自動車	1種 (3.5t)						36	36	
	準中型自動車	1種 (5t)						5	5	
		1種 (7.5t)						2	2	
	中型自動車	1種 (8t)	1	6	1		2		10	
		1種 (11t)		4	6	1			11	
	大型自動車	(11t以上)		3	24	37	23	10	23	120
	大特	1種			6	1			1	8
		2種								0
	けん引自動車				2		1			3
	小型船舶	1級				1	1			2
2級			5	9	21	9	1	4	49	
2級 (湖川)				1	1				2	
特殊				2	2	3		4	11	
危 険 物 者	甲種				1				1	
	乙種	1類			2	1	2		1	6
		2類			2		2		1	5
		3類			3	1	3		3	10
		4類		5	6	21	21	9	30	92
		5類			3	1	1		1	6
		6類			3		2		1	6
丙種			9	7				16		
消 防 設 備	甲種	特類							0	
		1類				1			1	
		2類							0	
		3類							0	
		4類			1	2			3	
	5類							0		
	乙種	1類					1		1	
		2類					1		1	
		3類							0	
		4類				1	1		2	
		5類					1		1	
		6類			3	2	1		2	8
	7類					1		1		
点検資格者	第1種								0	
	第2種								0	
予 防 技 術 資 格 者	危険物			1	2				3	
	消防用設備等			2			1	1	4	
	防火査察			3	3		1	2	9	
救 急 関 係	指導救命士			2	4				6	
	救命士		2	6	16	14	1	8	47	
	救急隊員	標準(Ⅱ課程含む)	9	27	33	20	10	38	137	
	応急手当指導員		4	25	32	23	10	38	132	
	日赤水上安全救助員								0	
	JPTEC	プロバイダー			2	3	4	2	21	32
		プレインストラクター				1	3	1		5
		インストラクター			3	3	3			9
	ICLSインストラクター			2	11				13	
MCLSインストラクター			2	2	1			5		
労 働 安 全 衛 生 法	衛生工学衛生管理者					1			1	
	第1種衛生管理者				2	3			5	
	ガス溶接		2	4	1				7	
	アーク溶接			3	2				5	
	酸欠危険作業主任者		2	9	15	9	1	5	41	
	特定化学物質等作業主任者			4	8				12	
	足場作業主任者		1		1				2	
	玉掛技能		2	9	17	10	2	5	45	
小型移動式クレーン		3	9	17	9	2	6	46		
陸 上 無 線	1級				2				2	
	2級		11	20	3	3			37	
	3級			11	32	20	10	57	130	
そ の 他	自動車整備士3級			2					2	
	毒劇物取扱責任者			3		1			4	
	高圧ガス製造保安責任者		2		1				3	

## 1 2 消防本部(署) 事務分掌

### 総務課

#### (庶務係)

- (1) 組織、制度及び基本施策の企画及び調整に関すること。
- (2) 規程等の制定及び改廃に関すること。
- (3) 公印の管守に関すること。
- (4) 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- (5) 予算及び決算に関すること。
- (6) 国及び県の支出金に関すること。
- (7) 職員及び団員の任免等人事に関すること。
- (8) 職員及び団員の福利厚生及び給貸与品に関すること。
- (9) 職員、団員等の表彰に関すること。
- (10) 職員の研修に関すること。
- (11) 職員、団員等の公務災害補償に関すること。
- (12) 消防団協力事業所表示制度に関すること。
- (13) 学生消防団活動認証制度に関すること
- (14) 野田市消防委員会、消防長会等に関すること。
- (15) 庁用財産の維持管理、物品の購入及び保管並びに出納に関すること。
- (16) 公用自動車等の事故に関すること。
- (17) 職員の給与及び団員の報酬等に関すること。
- (18) 他課署の所管に属さないこと。

### 予防課

#### (予防係)

- (1) 災害予防計画に関すること。
- (2) 水火災予防思想の普及、啓発及び指導に関すること。
- (3) 建築確認等の同意に関すること。
- (4) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (5) 予防査察に関すること。
- (6) 屋外における火災予防措置等に関すること。
- (7) 防火対象物の使用開始に関すること。
- (8) 防火管理者等の講習及び指導育成に関すること。
- (9) 野田市火災予防条例（昭和37年野田市条例第3号）に基づく届出に関すること。
- (10) 火災の統計に関すること。
- (11) 音楽隊に関すること。
- (12) その他予防に関すること。
- (13) 課の庶務に関すること。

#### (危険物係)

- (1) 危険物及び少量危険物に関すること。
- (2) 危険物製造所等の火災の予防及び施設の維持管理等の指導に関すること。
- (3) 高圧ガスに関すること。

- (4) 火災の原因及び損害額の調査に関する事。
- (5) 罹災証明に関する事。
- (6) 消防防災協会の指導育成に関する事。
- (7) その他危険物取扱者の指導育成に関する事。

## 警 防 課

### (消 防 係)

- (1) 消防計画に関する事。
- (2) 消防団の運営及び管理に関する事。
- (3) 消防水利に関する事。
- (4) 消防相互応援協定に関する事。
- (5) 消防施設及び装備の整備計画及び維持管理に関する事。
- (6) 消防機器の設計に関する事。
- (7) 消防統計に関する事。
- (8) 団員の研修及び教養訓練に関する事。
- (9) 消防儀式に関する事。
- (10) 開発行為の事前協議に関する事。
- (11) その他警防に関する事。
- (12) 課の庶務に関する事。

### (救急救助係)

- (1) 救急救助業務の計画及び訓練指導に関する事。
- (2) 救急救助機器及び資器材の整備計画及び維持管理に関する事。
- (3) 救急救助機器の設計に関する事。
- (4) 救急医療機関等に関する事。
- (5) 救急救助の統計に関する事。
- (6) その他救急救助に関する事。

## 消 防 署

### (管 理 係)

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書の收受及び保存に関する事。
- (3) 署員の勤務配置に関する事。
- (4) 職員の教養訓練及び福利厚生に関する事。
- (5) 庁舎及び物品の管理に関する事。
- (6) 火災予防上の届出及び調査指導に関する事。
- (7) 消防記録に関する事。
- (8) 音楽隊に関する事。
- (9) 消防署の庶務に関する事。
- (10) その他、他の係に属しない事。

### (消防第一係、消防第二係、消防第三係)

- (1) 水火災の警戒及び鎮圧に関する事。
- (2) 救急救助業務に関する事。
- (3) 消防機械器具の維持管理に関する事。
- (4) 地理、水利の調査に関する事。
- (5) 予防査察に関する事。
- (6) 火災原因及び損害額の調査に関する事。
- (7) 消防訓練の指導に関する事。
- (8) 自主防災組織の指導育成に関する事。

### (通信第一係、通信第二係、通信第三係)

- (1) 火災、救急救助及びその他災害の通報に係る受理に関する事。
- (2) ちば北西部消防指令センターとの連絡調整に関する事。
- (3) 火災、救急救助及びその他災害出動に係る通信の統制に関する事。
- (4) 火災、救急救助及びその他災害情報の収集及び伝達に関する事。
- (5) 消防無線に関する事。
- (6) 防災行政無線に関する事。
- (7) 通信施設設備の維持管理に関する事。
- (8) 気象情報の収集及び伝達に関する事。
- (9) その他消防通信に関する事。

### (日勤救急係)

日勤救急業務に関する事。

## 分 署 ・ 出 張 所

### (消防第一係、消防第二係、消防第三係)

- (1) 水火災の警戒及び鎮圧に関する事。
- (2) 救急救助業務に関する事。
- (3) 消防無線に関する事。
- (4) 通信施設設備の維持管理に関する事。
- (5) 消防機械器具の維持管理に関する事。
- (6) 災害情報の収集及び伝達に関する事。
- (7) 地理、水利の調査に関する事。
- (8) 予防査察に関する事。
- (9) 火災原因及び損害額の調査に関する事。
- (10) 消防訓練の指導に関する事。
- (11) 自主防災組織の指導育成に関する事。
- (12) 分署の庶務に関する事。

予 防





# 1 防火対象物の現況

(令和5年3月31日現在)

用途別		区域別							計	
		中央地区	東部地区	南部地区	北部地区	川間地区	福田地区	関宿地域		
1	イ	劇場、映画館等								
	ロ	公会堂又は集会場	12	12	19	12	7	8	13	83
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2	1	4	1		2	12
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗								
	ニ	カラオケボックス等の店舗	1	2						3
3	イ	待合、料理店の類								
	ロ	飲食店	26	27	19	16	7	2	12	109
4		百貨店、マーケット等	28	36	54	24	16	9	28	195
5	イ	旅館、ホテル等	38	11	48		2	3	6	108
	ロ	寄宿舎、共同住宅	244	130	496	168	161	18	67	1,284
6	イ	病院、診療所等	8	11	16	7	7	6	4	59
	ロ	老人福祉施設等	18	19	9	6	16	8	11	87
	ハ	老人デイサービスセンター等	15	25	17	6	14	8	16	101
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	4	4	10	2		7	29
7		小、中、高校、大学校等	27	16	53	21	14	9	20	160
8		図書館、美術館等	3						1	4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			2					2
	ロ	イ以外の公衆浴場								
10		車両の停車場等	3		1	1				5
11		神社、寺院、教会等	9	4	29	2	2	6	10	62
12	イ	工場又は作業場	75	65	28	101	59	112	276	716
	ロ	映画・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場	4	13	7	1	3	4	10	42
	ロ	飛行機格納庫							2	2
14		倉庫	67	78	50	70	65	81	176	587
15		前各項に該当しない事業場	67	49	35	28	54	40	58	331
16	イ	特定の複合用途防火対象物	57	14	19	25	14	3	10	142
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	21	15	17	11	9	4	3	80
17		重要文化財建造物等	2							2
合 計			729	533	924	513	453	321	732	4,205

## 2 中高層建築物及び地階を有する建築物

(令和5年3月31日現在)

用途別		階別	合計	階別														地下1階	地下2階	
				3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階					
1	イ	劇場、映画館等																		
	ロ	公会堂又は集会場	3	1	2													1		
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等																		
	ロ	遊技場又はダンスホール																		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗																		
3	イ	待合、料理店の類																		
	ロ	飲食店	7	5	2															
4		百貨店、マーケット等	1	1																
5	イ	旅館、ホテル等	6	1	3					2								2		
	ロ	寄宿舎、共同住宅	189	122	35	19	3	3	2		1		2	1	1			8		
6	イ	病院、診療所等	22	15	4			3										3		
	ロ	老人福祉施設等	19	14	3		2											2		
	ハ	老人デイサービスセンター等	2	1		1														
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1																
7		小、中、高校、大学校等	76	52	19	2	2		1									5		
8		図書館、美術館等	1		1															
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等																1		
	ロ	イ以外の公衆浴場																		
10		車両の停車場等																1		
11		神社、寺院、教会等	17	11	3	1	1				1							15	1	
12	イ	工場又は作業場	56	38	11	5	2												5	
	ロ	映画・テレビスタジオ																		
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1																
	ロ	飛行機格納庫																		
14		倉庫	40	23	13	2	1	1											4	
15		前各項に該当しない事業場	66	58	6		1			1									15	1
16	イ	特定の複合用途防火対象物	72	60	8	4														3
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	37	33	2	2														3
17		重要文化財建造物等																		
合計			616	437	112	36	12	7	3	3	2			2	1	1			68	2

### 3 建築同意事務処理状況

(令和5年3月31日現在)

用途別	月別													計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	イ	劇場、映画館等													
	ロ	公会堂又は集会場													4
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等													
	ロ	遊技場又はダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗													
	ニ	カラオケボックス等の店舗													
3	イ	待合、料理店の類													
	ロ	飲食店													2
4		百貨店、マーケット													4
5	イ	旅館、ホテル等													
	ロ	寄宿舎、共同住宅													18
6	イ	病院、診療所等													2
	ロ	老人福祉施設													4
	ハ	老人デイサービスセンター等													8
	ニ	幼稚園又は特別支援学校													
7		小、中、高校、大学校等													1
8		図書館、美術館等													
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等													
	ロ	イ以外の公衆浴場													
10		車両の停車場等													
11		神社、寺院、教会等													4
12	イ	工場又は作業場													6
	ロ	映画・テレビスタジオ													
13	イ	自動車車庫又は駐車場													1
	ロ	飛行機格納庫													
14		倉庫													10
15		前項に該当しない事業場													7
16	イ	特定の複合用途防火対象物													3
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物													2
17		重要文化財建造物等													
専用住宅		1	1	3		2	1	9	10			1	3	31	
長屋住宅		1	4	3		1	4	3	5	2	1	3	1	28	
その他		5	5	5	3	12	2	4	1	6	3		3	49	
合計		11	16	23	11	22	15	22	18	13	6	13	14	184	
新築		9	13	13	11	4	18	11	8	18	15	18	15	153	
増築				3	2	2				3	2		1	13	
改築					1							1		2	
その他							2							2	
合計		9	13	16	14	6	20	11	8	21	17	19	16	170	

## 4 消防法関係各種届出

(令和5年3月31日現在)

届出区分	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
消火器設置届	5	9	5	2	8	6	9	4	7	5	8	15	83	
屋内消火栓設置届			2		1		1		1			1	6	
スプリンクラー設置届						3		1	1			2	7	
特殊消火設備設置届														
屋外消火栓設置届			1		1				1				3	
動力消防ポンプ設置届				1					1				2	
自動火災報知設備設置届	3	9	6	2	6	8	8	11	5	2	9	19	88	
ガス漏火災警報設備設置届					1								1	
漏電火災警報器設置届												1	1	
火災通報装置設置届		1						1	2			1	5	
非常警報設備設置届	1	1	1			1	2	1	1	1	1	3	13	
放送設備設置届		3	1		1	2					1	1	9	
避難器具設置届	1				3	1		1			1	4	11	
誘導灯設置届	4	7	4	4	2	2	6	5	4	2	6	15	61	
誘導標識設置届	1	1	1		2	3			3		2	3	16	
消防用水設置届									3				3	
連結散水設備設置届														
連結送水管設置届														
非常コンセント設置届														
圧縮アセチレンガス等の届出	2		2	7	1	2	2		2			4	22	
防火管理者選解任届出	29	28	30	20	17	25	21	17	19	11	16	15	248	
消防計画作成(変更)届出	30	39	32	28	19	27	18	14	18	12	17	16	270	
消防設備等点検結果報告	98	98	78	71	83	109	66	87	168	67	75	121	1,121	
防火対象物点検結果報告	8	5	8	1	5	4	6	5	11	2	4	14	73	
消防訓練実施報告	38	62	117	54	34	95	95	156	66	30	49	105	901	
合計	220	263	288	190	184	288	234	303	313	132	189	340	2,944	

## 5 火災予防条例関係届出

(令和5年3月31日現在)

届出区分	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
指定催し														
使用開始届	7	11	4	5	15	11	10	18	14	10	14	22	141	
炉														
厨房設備														
温風暖房機														
ボイラー	1		1	1	1	1		1			1		7	
乾燥設備									1				1	
給湯湯沸設備					1				2		2		5	
変電設備		1	4	2	1	1	1	2	2	1	3	5	23	
発電設備		1			1	1				2	1	1	7	
蓄電池設備	1		2			1		1	2	2		1	10	
急速充電設備														
ネオン管等設備														
サウナ設備				1									1	
放電加工機							1						1	
ヒートポンプ 冷暖房機														
指定洞道														
露店等の開設届出							1	1	2	2		4	10	
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生のおそれのある行為	3	7	1	14	1	5	8	9	36	8	3		95	
煙火の打ち上げ又は仕掛け		1		1	2			1				1	6	
催物の開催			1				1						2	
水道の断水又は減水														
道路工事届	19	21	30	29	15	23	29	24	21	32	18	19	280	
少量危険物	5	1	1	2	2	1	2		2	2	4	3	25	
指定可燃物	1		5	1			1		1	2	1		12	
禁止行為の解除申請	7	4	3					2		5	11	3	35	
合 計	44	47	52	56	39	46	53	61	82	64	58	59	661	

## 6 防火管理者の選任状況等

(令和5年3月31日現在)

用途別		種別	防火管理者	防火管理者	消防計画書
			対象物数	選任済数	届出済数
1	イ	劇場、映画館等			
	ロ	公会堂又は集会場	84	77	74
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場又はダンスホール	10	10	10
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等の店舗	3	3	3
3	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	108	100	96
4		百貨店、マーケット等	182	166	162
5	イ	旅館、ホテル等	8	8	8
	ロ	寄宿舎、共同住宅	68	56	51
6	イ	病院、診療所等	26	26	26
	ロ	老人福祉施設等	68	65	64
	ハ	老人デイサービスセンター等	48	46	45
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	9	9	9
7		小、中、高校、大学校等	42	42	42
8		図書館、美術館等	3	3	3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	2	2	2
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10		車両の停車場等			
11		神社、寺院、教会等	18	14	12
12	イ	工場又は作業場	76	74	72
	ロ	映画・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場			
	ロ	飛行機格納庫			
14		倉庫	38	35	33
15		前項に該当しない事業場	84	72	70
16	イ	特定の複合用途防火対象物	118	86	79
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	17	13	12
17		重要文化財建造物等			
合 計			1,012	907	873

## 7 甲種防火管理新規講習会実施状況

区分	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	受講者数		88	46		43

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度甲種防火管理新規講習会を中止としました。

## 8 予防査察実施状況

### (1) 防火対象物

(令和5年3月31日現在)

用途別		年度別		対象物数	令和3年度	令和4年度
		令和3年度	令和4年度			
1	イ	劇場、映画館等				
	ロ	公会堂又は集会場		83	49	30
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場又はダンスホール		12	3	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス等の店舗		3		1
3	イ	待合、料理店の類				
	ロ	飲食店		109	38	36
4		百貨店、マーケット等		195	61	60
5	イ	旅館、ホテル等		108	36	25
	ロ	寄宿舍、共同住宅		1,284		11
6	イ	病院、診療所等		59	6	18
	ロ	老人福祉施設等		87	15	25
	ハ	老人デイサービスセンター等		101	23	29
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		29	5	19
7		小、中、高校、大学校等		160	93	27
8		図書館、美術館等		4		1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		2	2	
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10		車両の停車場等		5		
11		神社、寺院、教会等		62	2	
12	イ	工場又は作業場		716	45	127
	ロ	映画・テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫又は駐車場		42	2	4
	ロ	飛行機格納庫		2		
14		倉庫		587	59	100
15		前各号に該当しない事業場		331	22	67
16	イ	特定の複合用途防火対象物		142	35	35
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		80	3	8
17		重要文化財建造物等		2		1
合 計				4,205	499	627

### (2) 危険物施設

製造所等の別 年度別	製 造 所	貯蔵所							取扱所				合 計
		屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 ( 営業 用 油)	給 ( 自家 用 油)	販 売	一 般	
危険物施設数	29	94	109	2	81	1	87	42	32	47		66	590
令和3年度	27	36	53	1	31	1	74	26	30	6		26	311
令和4年度	29	47	62	1	29		87	27	31	5		27	345

## 9 危険物製造所等の数

(令和5年3月31日現在)

製造所等の別		年度別				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
製 造 所		30	29	29	29	29
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	98	101	97	96	94
	屋外タンク貯蔵所	112	112	111	109	109
	屋内タンク貯蔵所	2	2	2	2	2
	地下タンク貯蔵所	83	84	85	84	81
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	1	1
	移動タンク貯蔵所	96	92	91	90	87
	屋 外 貯 蔵 所	43	43	42	42	42
取 扱 所	給油取扱所(営業用)	34	32	32	32	32
	給油取扱所(自家用)	45	46	46	46	47
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	74	71	71	70	66
合 計		618	613	607	601	590



# 10 数量・類別危険物製造所等の数

(令和5年3月31日現在)

区分 製造所等の別		数量別								
		計	5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1000倍以下	1000倍を超え るもの
製造所		29	3	7	8	5	2		3	1
貯蔵所	屋内貯蔵所	94	36	16	20	8	6	3	1	4
	屋外タンク貯蔵所	109	17	19	39	10	12	8	4	
	屋内タンク貯蔵所	2	1	1						
	地下タンク貯蔵所	81	24	21	14	8	8	1	4	1
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	87	19	3	27	26	3	1	8	
	屋外貯蔵所	42	4	25	13					
	小計	416	102	85	113	52	29	13	17	5
取扱所	給油取扱所	79	7	4	34	5	5	8	16	
	販売取扱所									
	一般取扱所	66	19	21	18	4			3	1
	小計	145	26	25	52	9	5	8	19	1
合計		590	131	117	173	66	36	21	39	7

区分 製造所等の別		類別						
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在
製造所					23			6
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	2		85	1		5
	屋外タンク貯蔵所				109			
	屋内タンク貯蔵所				2			
	地下タンク貯蔵所				81			
	簡易タンク貯蔵所				1			
	移動タンク貯蔵所				87			
	屋外貯蔵所				42			
小計		1	2		407	1		5
取扱所	給油取扱所				79			
	販売取扱所							
	一般取扱所				66			
	小計				145			
合計		1	2		575	1		11

# 1 1 月別危険物製造所等の許可・検査等の数

(令和5年3月31日現在)

製造所等の別		月 別													小計	合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
設 置 ・ 変 更 許 可	製 造 所	設置															7
		変更		1	1					1	1		2	1	7		
	屋 内 貯 蔵 所	設置												1	1	1	
		変更															
	屋外タンク貯蔵所	設置															
		変更			1	2									3	3	
	屋内タンク貯蔵所	設置															
		変更															
	地下タンク貯蔵所	設置												1	1	1	
		変更															
	簡易タンク貯蔵所	設置															
		変更															
	移動タンク貯蔵所	設置	1		1										2	3	
		変更			1										1		
	屋 外 貯 蔵 所	設置															
		変更															
	給 油 取 扱 所	設置															
		変更				1	3	2		1	1	1	1	10	10		
	販 売 取 扱 所	設置															
		変更															
一 般 取 扱 所	設置																
	変更												1	1	1		
小 計	設置	1		1									2	4			
	変更		1	3	1	2	3	2	1	2	1	3	3	22	26		
合 計			1	1	4	1	2	3	2	1	2	1	3	5	26		

タンク水張検査		1											2	3	3
タンク水圧検査															
仮貯蔵・仮取扱	1			1	2								1	5	5
仮 使 用		1	2	1		2	2		2	1	3	3	17	17	
製造所完成検査	2			2					1	1			3	9	
貯蔵所完成検査	1		1	1	1	2					1	1		8	29
取扱所完成検査	1		1		1	2	1	2		2	1	1	12		
合 計	5	2	4	5	4	6	3	3	3	4	5	10	54	54	

## 1 2 危険物製造所等の申請手数料

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

区分 製造所等の別	許 可		完 成		仮使用	水 水 張 圧 検 査	仮貯蔵 仮取扱	合 計
	設 置	変 更	設 置	変 更				
製 造 所		280,500		182,500	32,400			495,400
屋 内 貯 蔵 所	20,000							20,000
屋外タンク貯蔵所		33,000		16,500	5,400			54,900
屋内タンク貯蔵所								
地下タンク貯蔵所	26,000							26,000
簡易タンク貯蔵所								
移動タンク貯蔵所	52,000	13,000	26,000	35,750				126,750
屋 外 貯 蔵 所								
給 油 取 扱 所		260,000	26,000	130,000	48,600			464,600
販 売 取 扱 所								
一 般 取 扱 所		19,500		9,750	5,400			34,650
水 水 張 圧 検 査						28,000		28,000
仮 貯 蔵 仮 取 扱							27,000	27,000
手 数 料 合 計	98,000	606,000	52,000	374,500	91,800	28,000	27,000	1,277,300
申 請 件 数	4	22	3	26	17	3	5	80

### 1 3 火災予防広報活動

(令和5年3月31日現在)

区分 月別	幼児防火指導		自主防災 組織 防火指導		一般防火指導		小・中・高 防火指導		消防署見学		計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
4月					4	101					4	101
5月					1	14	1	18			2	32
6月	2	138			3	32					5	170
7月			2	52	2	41			1	30	5	123
8月			1	20							1	20
9月	4	575			1	121			1	25	6	721
10月	1	44	1	200	4	243			2	61	8	548
11月	3	235	9	481					6	226	18	942
12月									4	150	4	150
1月												
2月			1	10					1	25	2	35
3月												
合計	10	992	14	763	15	552	1	18	15	517	55	2,842

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、防火指導の出向、消防署見学を最小限としました。

## 1 4 音楽隊活動

### (1) 音楽隊編成

(令和4年4月1日現在)

階 級	所属別									
	総務課	予防課	警防課	消防署	中央分署	北分署	南分署	関宿分署	関宿北出張所	計
消 防 司 令						1	1		1	3
消 防 司 令 補				2		1	1	1		5
消 防 士 長				2	1	3	1		1	8
消 防 副 士 長							1		1	2
消 防 士				3	1			1	1	6
合 計				7	2	5	4	2	4	24

### (2) 楽器の保有状況(音響設備含)

楽 器 名	数量	楽 器 名	数量	楽 器 名	数量
テナーサクソフォン	1	チューバ	1	エレキベースアンプ	1
アルトサクソフォン	1	スーザフォン	1	ドラムセット	1
ソプラノサクソフォン	1	ウッドコンガ	2	ミキシングコンソール	1
クラリネット	2	マーチングシンバル	1	モニタースピーカー	2
トランペット	4	コンサートシンバル	1	楽器用マイク	5
トロンボーン	3	マーチングスネヤドラム	1	PAスピーカー	2
ユーフォニューム	1	エレキギター	1	ハーモニーディレクター	1
フレンチホルン	2	エレキベースギター	1		
卓上鉄琴	1	エレキギターアンプ	1		

### (3) 活動状況

内 容	活動回数	内 訳					
		練 習 回 数		出演回数	出 演 内 容		
		合 同	パート別		消 防 関 係	市 関 係	そ の 他
4 月							
5 月	2		2				
6 月	1	1					
7 月	2	2					
8 月							
9 月	2		2				
10 月	4	2	1	1		1	
11 月	3		3				
12 月	7	1	6				
1 月	3	1	1	1	1		
2 月	4		3	1	1		
3 月	3	1	1	1	1		
合 計	31	8	19	4	3	1	

警 防



# 1 消防水利の現況

(令和5年3月31日現在)

水利	地区名									
	中央	東部	南部	北部	川間	福田	関宿	二川	木間ヶ瀬	計
防火水槽 100m <sup>3</sup> (以上)	2	0	0	2	0	1	0	1	0	6
〃 90m <sup>3</sup>	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
〃 80m <sup>3</sup>	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
〃 70m <sup>3</sup>	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
〃 60m <sup>3</sup>	2	0	1	0	1	1	0	0	4	9
〃 50m <sup>3</sup>	3	2	1	0	2	3	0	0	0	11
〃 40m <sup>3</sup>	55	77	97	61	93	99	30	83	106	701
〃 30m <sup>3</sup>	4	0	0	0	2	0	0	0	0	6
〃 20m <sup>3</sup>	16	3	4	8	3	3	6	9	14	66
〃 10m <sup>3</sup>	5	11	6	12	23	7	1	0	0	65
〃 10m <sup>3</sup> 未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
防火水槽 (小計)	92	93	109	83	125	114	38	95	125	874
プ ー ル	4	5	4	6	3	4	1	3	2	32
消 火 栓	345	238	312	261	216	175	115	224	236	2,122
指 定 水 利	5	8	1	3	5	0	1	1	0	24
合 計	446	344	426	353	349	293	155	323	363	3,052

## うち耐震性防火水槽の設置状況

耐震性	容 量	中央	東部	南部	北部	川間	福田	関宿	二川	木間ヶ瀬	計
		100m <sup>3</sup> 型				1		1			
60m <sup>3</sup> 型						1	1			3	5
防火水槽	40m <sup>3</sup> 型	14	18	15	21	46	29	2	7	9	161
	計	14	18	15	22	47	31	2	7	12	168

## 2 消防用車両の配置状況

(令和5年3月31日現在)

所 属	種 別	車名	車 両 番 号	登録年月日
総務課	消防長車	ニッサン	野田 3 3 0 す 6 0 0 4	平成27/07/01
	連絡車	スズキ	野田 5 8 0 す 7 5 0 2	平成24/09/03
予防課	広報車	ニッサン	野田 8 3 0 つ 6 0 0 0	平成20/01/29
	連絡車	トヨタ	野田 5 0 1 す 3 0 9 8	平成20/05/14
警防課	広報車	ニッサン	野田 8 3 0 さ 6 0 0 1	平成24/07/30
	連絡車	ミツビシ	野田 4 8 0 え 4 8 6 6	平成25/06/03
	救急普及啓発広報車	ニッサン	野田 8 0 0 す 2 2 3 9	平成29/10/30
	投光機車	スバル	野田 4 0 か 2 0 8 1	平成16/06/25
消防署	指揮車	トヨタ	野田 8 0 0 に 1 0 0 0	平成23/03/09
	司令車	ミツビシ	野田 8 8 0 あ 4 8	平成17/10/21
	水槽付ポンプ車	ヒノ	野田 8 3 0 ち 1 0 0 1	平成19/03/05
	消防ポンプ車 (水槽付)	ヒノ	野田 8 3 0 せ 1 0 0 2	平成25/02/25
	高規格救急車 (1号)	トヨタ	野田 8 3 0 さ 1 0 9 9	平成29/10/20
	高規格救急車 (2号)	トヨタ	野田 8 3 0 さ 1 2 9 9	令和03/01/05
	救助工作車	ヒノ	野田 8 3 0 は 1 0 0 5	令和05/01/25
	はしご車	ヒノ	野田 8 0 0 は 2 6 7	平成16/12/17
	小型動力ポンプ付水槽車	ミツビシ	野田 8 0 0 は 2 3 6	平成16/03/09
	支援車	ヒノ	野田 8 3 0 さ 1 0 0 6	平成28/03/18
	人員輸送車 (マイクロバス)	トヨタ	野田 2 3 0 さ 6 0 0 6	令和02/05/27
	人員輸送車 (キャラバン)	ニッサン	野田 2 3 0 さ 6 0 0 5	平成28/07/01
	人員輸送車 (セレナ)	ニッサン	野田 5 0 1 と 5 0 6 6	平成26/07/01
	連絡車	ニッサン	野田 5 0 0 む 6 1 5	平成17/05/20
中央分署	消防ポンプ車 (水槽付)	ヒノ	野田 8 3 0 に 2 0 0 1	平成27/01/15
	消防ポンプ車 (水槽付)	ヒノ	野田 8 3 0 さ 5 0 0 2	平成23/03/11
	高規格救急車	ニッサン	野田 8 3 0 さ 2 0 9 9	平成27/12/08
北分署	水槽付ポンプ車	ヒノ	野田 8 3 0 さ 3 0 0 1	平成19/03/05
	化学消防ポンプ車	ヒノ	野田 8 3 0 さ 3 0 0 2	平成24/02/27
	高規格救急車	トヨタ	野田 8 3 0 さ 3 0 9 9	平成30/09/20
	連絡車	トヨタ	野田 5 5 せ 2 0 2 1	平成10/04/28
南分署	消防ポンプ車 (水槽付)	ヒノ	野田 8 3 0 さ 4 0 0 1	平成23/03/11
	高規格救急車	トヨタ	野田 8 3 0 さ 4 0 9 9	令和04/09/06
	連絡車	ミツビシ	野田 4 8 0 え 4 8 6 7	平成25/06/03
関宿分署	水槽付ポンプ車	イスゞ	野田 8 3 0 さ 5 0 0 1	平成20/12/15
	消防ポンプ車	ヒノ	野田 8 0 0 さ 7 8 6 3	平成17/11/17
	高規格救急車 (1号)	トヨタ	野田 8 3 0 さ 5 0 9 9	令和1/11/05
	高規格救急車 (2号)	トヨタ	野田 8 3 0 さ 9 9 0 1	平成19/11/28
	救助工作車	ヒノ	野田 8 3 0 さ 5 0 0 3	平成25/03/15
	災害対策車	ミツビシ	野田 8 0 0 さ 2 1 8 5	平成12/08/22
関宿北出張所	水槽付ポンプ車	イスゞ	野田 8 3 0 せ 5 0 0 4	平成31/04/24
	高規格救急車	ニッサン	野田 8 3 0 さ 9 9 0 6	平成25/10/29
	連絡車	スズキ	野田 5 0 え 8 1 0 4	平成13/05/18



### 3 資機（器）材一覧表

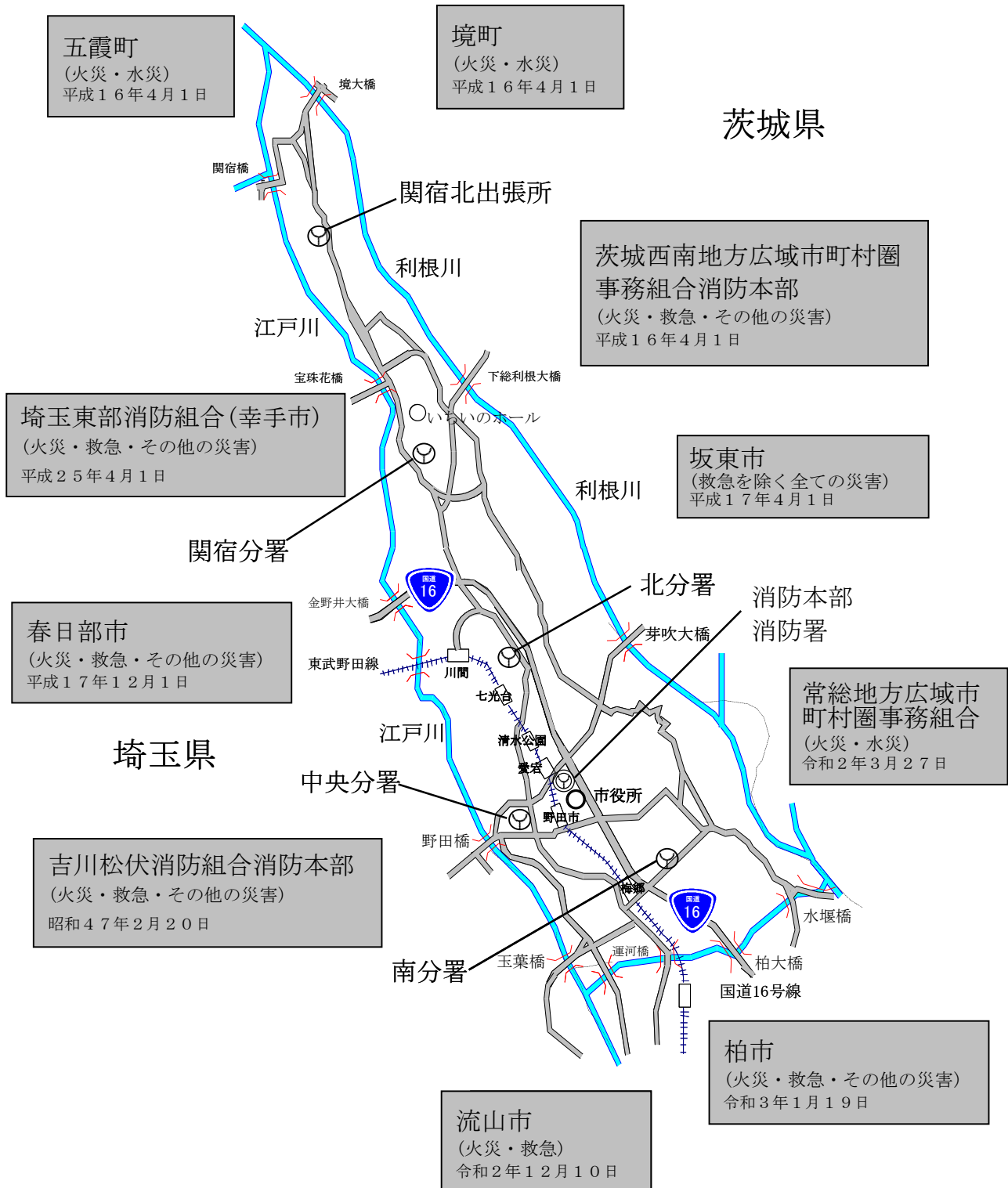
資機材名	配 置						資機材名	配 置					
	消 防 署	中 央 分 署	北 分 署	南 分 署	関 宿 分 署	出 関 張 宿 所北		消 防 署	中 央 分 署	北 分 署	南 分 署	関 宿 分 署	出 関 張 宿 所北
<b>一般救助用</b>							<b>検知・測定用</b>						
かぎ付はしご	5	1	2		3		可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	1
三連はしご	4	2	2	1	2	1	有毒ガス測定器	3	1	1	1	2	1
金属製折りたたみはしご 又はワイヤはしご	1				1		酸素濃度測定器	2	1	1	1	1	1
空気式救助マット	1				1		放射線測定器	5	2	1	2	2	1
救命索発射銃	2				1		<b>呼吸保護用</b>						
救助用縛帯	10	1	1	1	7	1	空気呼吸器(29.4MPa)	21	7	9	4	11	3
平担架	1				1		予備ボンベ(14.7MPa)	12	1			10	
<b>重量物排除用</b>							予備ボンベ(29.4MPa)	36	8	4	4	12	3
油圧ジャッキ	8	3	3	1	6	1	簡易呼吸器	2					
油圧スプレッダー	1				2		防塵マスク	6		2	3	5	
可搬ウィンチ	3				3		送排風機	4	2	2	1	1	1
マンホール救助器具	2				1		<b>隊員保護用</b>						
マット型 空気ジャッキ式	1				1		耐電手袋	9	5	4	4	7	2
大型油圧スプレッダー	2	1	1	1	2		耐電衣一式	5	2	1	1	4	
救助用支柱器具	2						防塵メガネ	16	12	7	5	16	9
<b>切断用</b>							携帯警報機	20	1	2	1	9	
エンジンカッター	5	3	2	1	4	2	放射線個人線量計	18	3	2	2	3	2
チェーンソー	7	7	6	5	5	3	防毒マスク	14	3	2	3	10	3
鉄線カッター	10	3	4	4	6	2	化学防護服（陽圧式化学 防護服を除く）	40	8	5	7	10	7
空気鋸	1	1			1		陽圧式化学防護服	4				2	
大型油圧切断機	2	1	1	1	2		耐熱服	2		2			
酸素切断機	1				1		放射線防護服	2					
<b>破壊用</b>							<b>検索用</b>						
万 能 斧	13	3	2	2	14	3	簡易画像探索機	1				1	
ハンマー	5	1	1	1	3	1	画像探索機	1					
携帯用コンクリート 破壊器具	1				1		<b>除染用</b>						
削 岩 機	3				2		除染シャワー	1				1	
ハンマドリル	3				1		除染散布機	2				1	

資機材名	配 置						資機材名	配 置					
	消 防 署	中 央 分 署	北 分 署	南 分 署	関 宿 分 署	出 張 宿 所北		消 防 署	中 央 分 署	北 分 署	南 分 署	関 宿 分 署	出 張 宿 所北
<b>水難救助用</b>							ロングバッグボード	10	7	7	4	8	4
潜水器具一式	8						脊椎固定具	1	2	1	1	2	1
救命胴衣	28	10	9	10	35	10	救急分娩セット	2	1	1	1	2	1
救命浮環	6		1	2	6	1	<b>搬送用</b>						
救命ボート	2	1	1	1	4	1	ストレッチャー	2	1	1	1	2	1
船外機	1					3	スクープストレッチャー	2	1	2	1	5	2
<b>山岳用</b>							布担架	6	5	8	6	5	3
バスケット担架	3					3	<b>消毒用</b>						
<b>観察用</b>							紫外線殺菌灯						1
体温計	13	7	7	5	13	8	自動式滅菌器	4		1		1	1
検眼ライト	7	5	6	4	5	3	<b>通信用</b>						
血圧計	7	5	5	6	6	3	心電図伝送装置					1	
聴診器	12	4	5	5	6	5	携帯電話	7	3	3	3	5	2
血中酸素飽和度測定器	6	3	4	5	6	3	<b>その他</b>						
心電計	3	2	3	3	5	2	洗眼器						1
血糖値測定器	2	1	1	1	2	1	リングカッター	4	1	1	2	2	1
<b>呼吸・循環管理用</b>							<b>訓練用</b>						
自動式人工呼吸器一式	2	1	1	1	2	1	高度救急処置訓練人形	1	1	1	1	1	
手動式人工呼吸器一式	11	8	7	5	8	8	気道管理訓練モデル	1	1			1	1
酸素吸入器一式	12	7	7	6	12	7	静脈路確保訓練モデル	1					
電動吸引器一式	4	3	3	2	4	2	<b>各種災害用</b>						
喉頭鏡	13	5	7	6	7	5	東消式発泡ネット			1		1	
マギール鉗子	16	8	8	7	12	8	化学消火薬剤	1280	180	1170	160	200	270
自動式心マッサージ器	2	1	1	1	1		オイルフェンス	2	2	2			
半自動式除細動器	2	1	1	1	2	1	緊急時用浄水装置	1		1			
酸素ボンベ2L	19	11	12	8	17	8	温水器	1					
酸素ボンベ10L	15	11	10	10	15	8	組立水槽(5t)	1	1	1	1		
災害多人数用 酸素吸入装置	1	1				1	組立水槽(2.5t)				5	4	
<b>創傷等保護用</b>							エアータント	2				1	
陰圧副子一式	1	1	1	1	2	1							

## 4 応援協定

### (1) 消防相互応援協定

消防組織法第39条に基づく隣接市町との協定（下図）



※ 消防相互応援協定内容は（ ）に、協定施行日をその下に記載

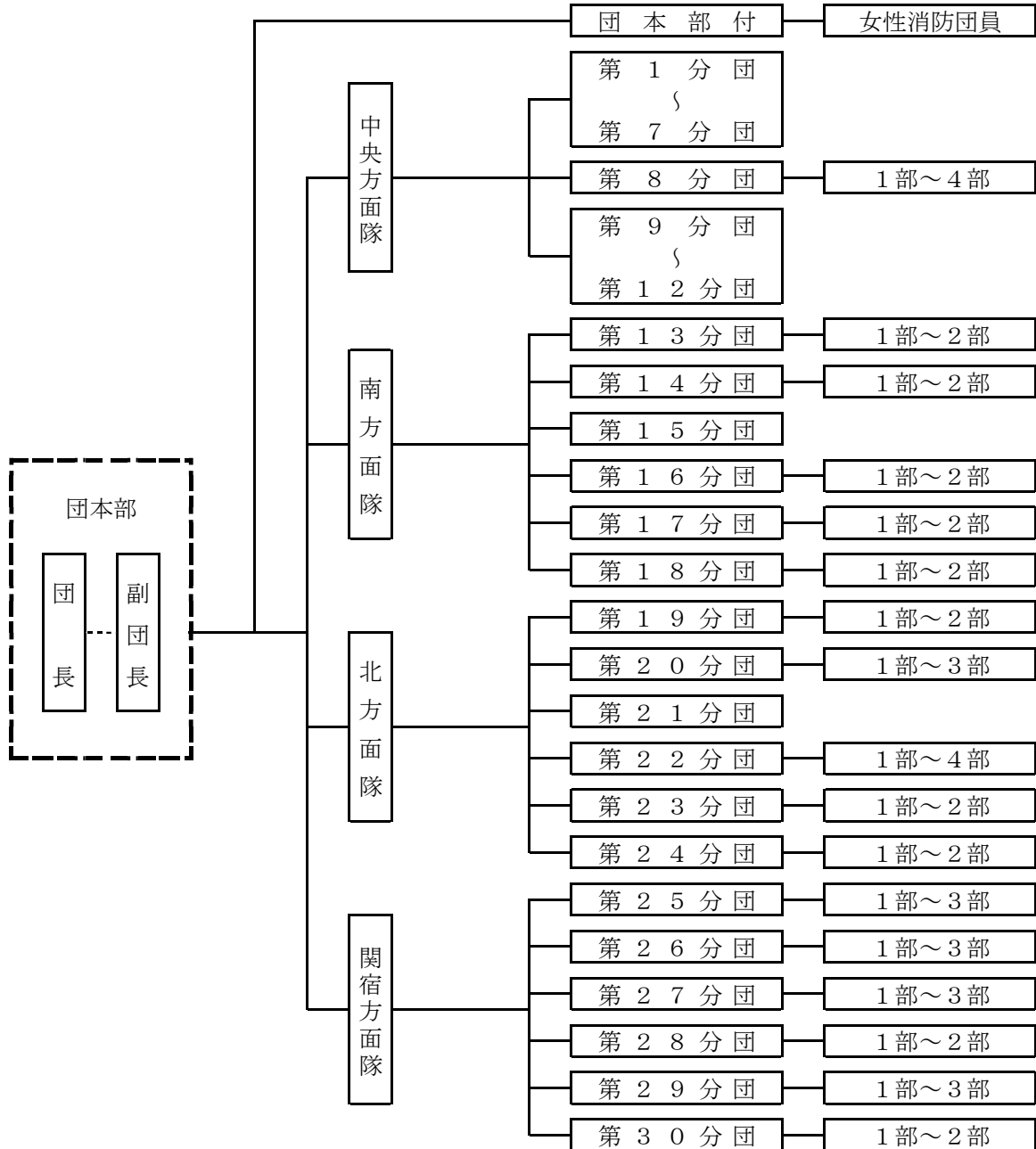
(2) 関係機関との協定

- ア 騒擾および災害救助に関する共助協定（野田警察、県公安委員会／昭和36年7月締結）
- イ ガス漏れ及び爆発事故の防止対策に関する協定（野田警察、東京電力、野田ガス、株  
ミツウロコ、昭和ガス株、県LPガス協会／昭和62年10月締結）
- ウ 千葉県広域消防相互応援協定（県下市町村及び一部事務組合／平成4年4月締結）
- エ 鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定（東武鉄道株  
ほか鉄道事業者／平成21年3月締結）
- オ 感染症患者移送に関する協定（野田健康福祉センター（野田保健所／令和2年3  
月締結）
- カ 災害時等における消防用水の供給支援に関する協定（千葉北部生コンクリート組  
合、野田生コン株、ほか／令和2年4月）
- キ 火災時における重機等の調達にかかる協定（野田建設業協同組合／平成9年11  
月締結）
- ク 火災時における重機等の調達にかかる協定（県北建設業協同組合／平成24年1  
1月締結）
- ケ 災害時における燃料の供給等に関する協定書（県石油協同組合野田支部／令和2  
年5月締結）
- コ 新型コロナウイルス感染症患者等の移送に関する協定（県健康福祉部／令和3年  
1月締結）
- サ 災害時等における移動トイレカー及び移動事務室車の供給協定に関する協定書に  
基づく火災等の使用に関する覚書（タフバリア有）／令和3年11月締結）

消 防 団

---

# 1 消防団の組織



# 2 消防団員の配置

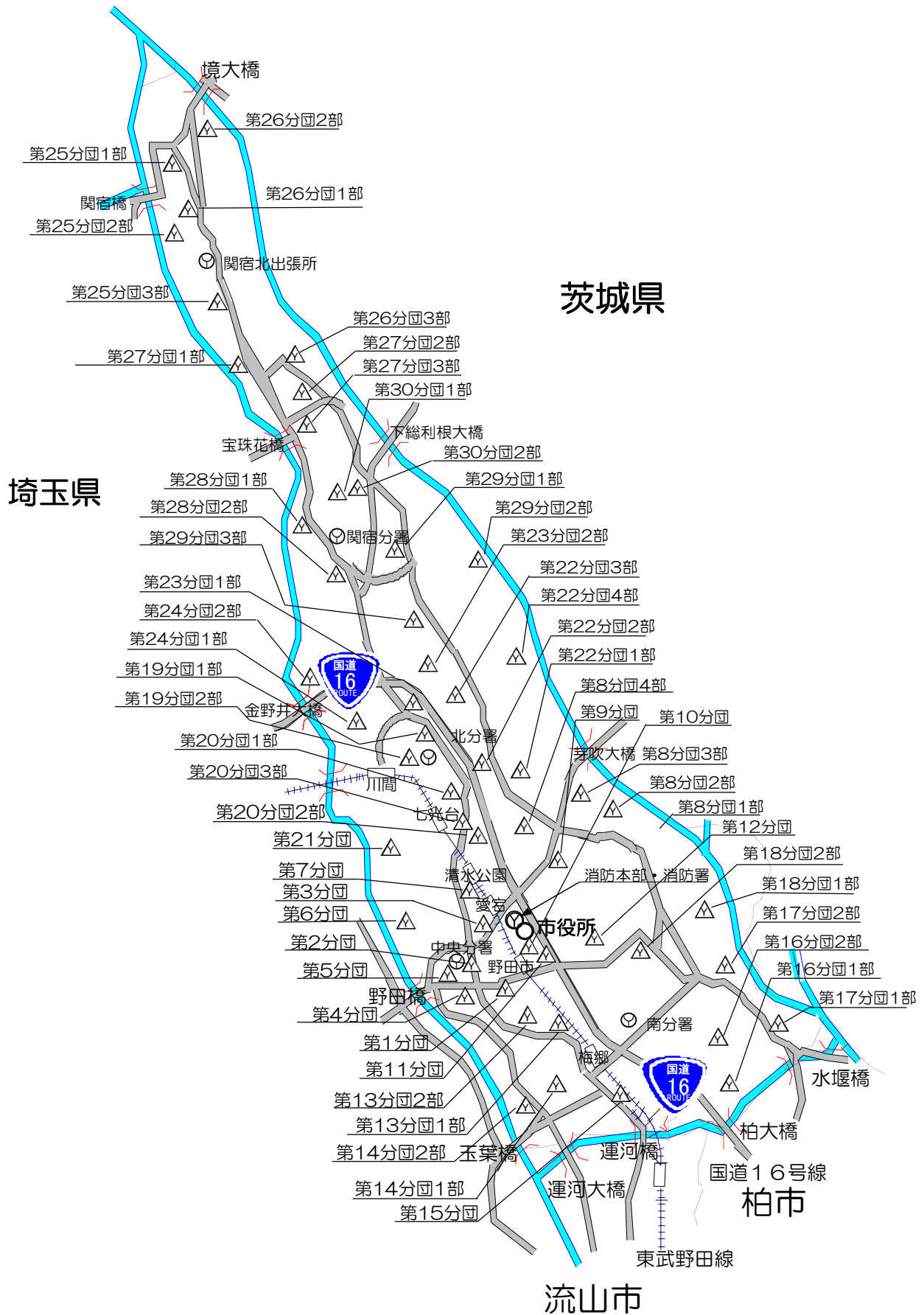
(令和4年4月1日現在)

	団長	副団長	救護本部長	方面隊長	本部部長	方面副隊長	方面分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	1	3	(1)									13	17
中央方面隊		1		(1)		2	2	12	12	15	30	83	157
南方方面隊		1		(1)		2	2	6	6	11	22	64	114
北方方面隊		1		(1)		2	1	6	6	14	28	94	152
関宿方面隊		1		(1)		2	2	6	6	16	32	92	157
計	1	7	(1)	(4)		8	7	30	30	56	112	346	597

※ ( ) は副団長を兼務

※ 団本部団員は女性消防団員

### 3 消防団位置図



#### 4 各分団分担区域及び器具置場所所在地

方面 隊別	分 団 名	分 担 区 域	器具置場所所在地	建築年月	面 積
中 央 方 面 隊	第1分団	野田のうち下町、上花輪のうち太子堂	野田59-2	平成11/03	78.65 m <sup>2</sup>
	第2分団	野田のうち仲町	野田313-7	昭和43/08	119.24 m <sup>2</sup>
	第3分団	野田のうち上町	野田729	平成03/03	61.97 m <sup>2</sup>
	第4分団	上花輪（太子堂を除く）、上花輪新町	上花輪621-3	平成03/12	61.96 m <sup>2</sup>
	第5分団	中野台、中野台鹿島町	中野台407-1	昭和57/04	55.89 m <sup>2</sup>
	第6分団	堤台、桜の里一丁目、桜の里二丁目、 桜の里三丁目、つつみ野一丁目、つ つつみ野二丁目	堤台483-6	令和02/03	77.18 m <sup>2</sup>
	第7分団	清水、清水公園東一丁目、清水公園東 二丁目	清水254-2	昭和60/03	55.77 m <sup>2</sup>
	第8分団1部	目吹のうち1区及び2区	目吹394-1	平成08/02	59.62 m <sup>2</sup>
	第8分団2部	目吹のうち3区	目吹1408	昭和54/11	46.27 m <sup>2</sup>
	第8分団3部	目吹のうち4区及び6区	目吹1683	昭和53/01	57.82 m <sup>2</sup>
	第8分団4部	目吹のうち5区	目吹1986	昭和54/09	57.82 m <sup>2</sup>
	第9分団	鶴奉、柳沢、金杉	鶴奉61-2	平成01/03	49.57 m <sup>2</sup>
第10分団	宮崎、横内	横内15-2	昭和61/03	49.60 m <sup>2</sup>	
第11分団	中根	中根31-1	平成13/03	60.89 m <sup>2</sup>	
第12分団	大殿井	大殿井312-3	昭和53/12	44.71 m <sup>2</sup>	
南 方 面 隊	第13分団1部	山崎のうち大和田、堤根の一部	山崎1401-2	平成08/03	79.49 m <sup>2</sup>
	第13分団2部	桜台、花井、堤根の一部、花井一丁目、 桜木	桜台52-7	昭和54/04	42.65 m <sup>2</sup>
	第14分団1部	山崎のうち宿、里及び中地、みずき一 丁目、みずき二丁目の一部	山崎1135-1	令和03/02	79.16 m <sup>2</sup>
	第14分団2部	今上	今上1783-4	昭和52/01	37.18 m <sup>2</sup>
	第15分団	山崎のうち東新田、西新田、島及び大 崎、山崎貝塚町、山崎梅の台、山崎新 町、みずき二丁目の一部、みずき三丁 目、みずき四丁目	山崎新町19-4	昭和52/11	42.96 m <sup>2</sup>
	第16分団1部	上三ヶ尾、下三ヶ尾	下三ヶ尾549-1	昭和53/12	46.37 m <sup>2</sup>
	第16分団2部	西三ヶ尾、二ツ塚	西三ヶ尾664	平成28/03	77.18 m <sup>2</sup>
	第17分団1部	瀬戸、三ツ堀（保木間及び灰毛除く）	瀬戸814	昭和54/10	45.54 m <sup>2</sup>
	第17分団2部	瀬戸、三ツ堀のうち保木間及び灰毛	瀬戸970-1	平成21/03	64.95 m <sup>2</sup>
	第18分団1部	木野崎のうち本郷及び下町	木野崎812	平成30/03	67.89 m <sup>2</sup>
第18分団2部	木野崎のうち鹿野、新町及び高根	木野崎1675-1	平成20/07	68.72 m <sup>2</sup>	



方面 隊別	分 団 名	分 担 区 域	器具置場所在地	建築年月	面 積
北 方 面 隊	第19分団1部	谷津の一部、吉春の一部、谷吉	谷津1191-2	昭和50/02	57.78 m <sup>2</sup>
	第19分団2部	七光台、日の出町	七光台182-37	令和03/11	64.80 m <sup>2</sup>
	第20分団1部	蕃昌、泉三丁目	蕃昌49	昭和54/10	40.57 m <sup>2</sup>
	第20分団2部	吉春の一部	吉春516-1	平成30/03	67.89 m <sup>2</sup>
	第20分団3部	谷津の一部、光葉町一丁目	谷津45-16	平成24/03	67.89 m <sup>2</sup>
	第21分団	岩名、五木、五木新田、岩名一丁目、岩名二丁目、春日町、五木新町、光葉町二丁目、光葉町三丁目	岩名1102-1	平成26/03	67.89 m <sup>2</sup>
	第22分団1部	船形のうち下、蕨打、泉二丁目	船形151-1	平成14/03	67.07 m <sup>2</sup>
	第22分団2部	船形のうち中、泉一丁目	船形1172-2	昭和63/02	49.58 m <sup>2</sup>
	第22分団3部	船形のうち上	船形1998-2	平成10/03	67.07 m <sup>2</sup>
	第22分団4部	小山、長谷	小山3127	昭和54/12	49.57 m <sup>2</sup>
	第23分団1部	中里（阿部を除く）	中里556	昭和48/03 平成21/03改築	76.10 m <sup>2</sup>
	第23分団2部	中里のうち阿部	中里2332-1	昭和52/11	44.72 m <sup>2</sup>
	第24分団1部	尾崎、尾崎台	尾崎370-4	昭和60/04	71.21 m <sup>2</sup>
	第24分団2部	東金野井	東金野井1264-4	昭和55/01	98.32 m <sup>2</sup>
関 宿 方 面 隊	第25分団1部	関宿台町のうち上町及び中下町、関宿町	関宿台町266-1	平成22/03	77.18 m <sup>2</sup>
	第25分団2部	関宿江戸町の一部、関宿元町、関宿内町、はやまの一部	関宿元町88-1	平成29/03	77.18 m <sup>2</sup>
	第25分団3部	新田戸の一部、西高野、東高野、関宿江戸町飛地、関宿元町飛地、はやまの一部、平成の一部	新田戸508	平成27/03	67.89 m <sup>2</sup>
	第26分団1部	関宿台町のうち西町及び下納谷	関宿台町959-3	令和03/02	64.80 m <sup>2</sup>
	第26分団2部	関宿台町のうち上谷中、下谷中及び納谷、関宿三軒家、関宿江戸町の一部、平成の一部	関宿台町6214	平成04/03	32.40 m <sup>2</sup>
	第26分団3部	桐ヶ作、平成の一部、新田戸の一部	桐ヶ作11-8	平成27/03	67.89 m <sup>2</sup>
	第27分団1部	中戸、柏寺、中戸谷津	柏寺248-1	平成31/03	77.18 m <sup>2</sup>
	第27分団2部	古布内、なみき三丁目の一部	古布内1110-2	令和02/03	64.80 m <sup>2</sup>
	第27分団3部	親野井、次木、なみき一丁目、なみき二丁目、なみき三丁目の一部、なみき四丁目	なみき二丁目5-6	平成15/03	78.07 m <sup>2</sup>
	第28分団1部	東宝珠花、平井	東宝珠花549	令和04/11	77.18 m <sup>2</sup>
	第28分団2部	木間ヶ瀬のうち新宿、岡田、丸井、岡田新田	木間ヶ瀬5060-3	平成28/03	67.89 m <sup>2</sup>
	第29分団1部	木間ヶ瀬のうち小作、松ノ木及び砂南	木間ヶ瀬3196-7	平成23/03	67.89 m <sup>2</sup>
	第29分団2部	木間ヶ瀬のうち内野堤根、出州、切及び上納谷、木間ヶ瀬新田	木間ヶ瀬9356-1	平成08/03	57.96 m <sup>2</sup>
	第29分団3部	木間ヶ瀬のうち志部前堀、下根及び大山	木間ヶ瀬5871-4	平成31/03	67.89 m <sup>2</sup>
第30分団1部	木間ヶ瀬のうち向ノ内、鴻ノ巣及び羽貫	木間ヶ瀬2114-1	平成29/03	67.89 m <sup>2</sup>	
第30分団2部	木間ヶ瀬のうち前村、飯塚、武者土及び高倉	木間ヶ瀬1008-1	平成25/03	67.89 m <sup>2</sup>	

## 5 消防団員の在職年数

(令和4年4月1日現在)

区分 年数	団 長	副 団 長	救 護 本 部 長	方 面 隊 長	本 部 部 長	方 面 副 隊 長	方 面 分 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
5年未満							2	1	1	2	12	117	135
5年以上 10年未満						3		4	4	9	41	79	140
10年以上 15年未満		2		(2)			3	11	15	34	42	81	188
15年以上 20年未満		1	(1)			2	1	10	8	9	15	51	97
20年以上 25年未満		1				3	1	3	2	1	2	17	30
25年以上 30年未満		1		(1)				1		1		1	4
30年以上	1	2		(1)									3
計	1	7	(1)	(4)		8	7	30	30	56	112	346	597

( ) は、副団長を兼務

## 6 消防団員の年齢

(令和4年4月1日現在)

区分 年齢	団 長	副 団 長	救 護 本 部 長	方 面 隊 長	本 部 部 長	方 面 副 隊 長	方 面 分 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
20歳未満								1				4	5
20歳以上 30歳未満									1	1	7	38	47
30歳以上 40歳未満								7	5	21	41	151	225
40歳以上 50歳未満						4	4	16	20	31	58	126	259
50歳以上 60歳未満		6		(4)		4	3	6	4	3	6	25	57
60歳以上 70歳未満	1	1	(1)									2	4
70歳以上													
計	1	7	(1)	(4)		8	7	30	30	56	112	346	597

( ) は副団長を兼務

## 7 消防団車両等の配置状況

(令和5年3月31日現在)

	分団名	種 別	車種	ポンプ名	級別	車 両 番 号	登録年月日
本部	団本部	団指揮車	ニッサン			野田800ろ8000	平成21/12/16
	団本部	指揮広報車	ニッサン			野田830さ8001	平成19/10/19
	団本部	小型ポンプ付積載車	トヨタ	トーハツ	B3	野田830さ8002	平成24/03/19
中央 方面 隊	第1分団	消防ポンプ車	ヒノ	ナカムラ 消防化学	A2	野田803に 1	平成25/01/15
	第2分団	消防ポンプ車	イスゞ	小池	A2	野田800さ7199	平成17/01/20
	第3分団	消防ポンプ車	ヒノ	ネイチャー	A2	野田800ぬ 3	平成19/02/09
	第4分団	消防ポンプ車	ヒノ	ネイチャー	A2	野田830す 4	平成19/02/09
	第5分団	消防ポンプ車	イスゞ	モリタ	A2	野田800め 5	令和02/02/03
	第6分団	消防ポンプ車	ヒノ	小池	A2	野田830さ 600	平成21/03/17
	第7分団	消防ポンプ車	ヒノ	モリタ	A2	野田800つ 7	平成18/01/26
	第8分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830す 801	平成21/03/16
	第8分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830す 802	平成22/03/04
	第8分団3部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ 803	平成21/03/16
	第8分団4部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ 804	平成22/03/03
	第9分団	消防ポンプ車	ヒノ	ネイチャー	A2	野田830て 9	平成22/03/11
	第10分団	消防ポンプ車	ヒノ	ネイチャー	A2	野田830ぬ 10	平成27/03/25
	第11分団	小型ポンプ付積載車	ニッサン	ラビット	B3	野田800さ7705	平成17/09/02
	第12分団	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830す 12	平成22/03/03
南 方 面 隊	第13分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1301	平成19/07/27
	第13分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1302	平成22/03/04
	第14分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1401	平成21/03/16
	第14分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1402	平成20/03/06
	第15分団	小型ポンプ付積載車	ニッサン	ラビット	B3	野田800さ7707	平成17/09/02
	第16分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1601	平成22/03/03
	第16分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1602	平成19/07/27
	第17分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1701	平成22/03/04
	第17分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	ラビット	B3	野田800さ7706	平成17/09/02
	第18分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1801	平成22/03/04
第18分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ1802	平成21/03/16	

(令和5年3月31日現在)

	分団名	種 別	車種	ポンプ名	級別	車 両 番 号	登録年月日
北 方 面 隊	第19分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	ラビット	B3	野田830さ1901	平成18/08/18
	第19分団2部	消防ポンプ車	ヒノ	モリタ	A2	野田830さ1902	平成18/01/26
	第20分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830な2001	平成20/03/06
	第20分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830そ2002	平成20/03/06
	第20分団3部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830せ2003	平成22/03/03
	第21分団	消防ポンプ車	ヒノ	モリタ	A2	野田830ち 21	平成18/01/26
	第22分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2201	平成22/03/03
	第22分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2202	平成20/03/06
	第22分団3部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2203	平成20/03/07
	第22分団4部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2204	平成22/03/04
	第23分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	ラビット	B3	野田800さ7708	平成17/09/02
	第23分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2302	平成21/03/16
	第24分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	ラビット	B3	野田830さ2401	平成18/08/18
	第24分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830す2402	平成22/03/04
関 宿 方 面 隊	第25分団1部	消防ポンプ車	ヒノ	ネイチャー	A2	野田830さ2501	平成23/02/08
	第25分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田800さ7846	平成17/11/11
	第25分団3部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830せ 27	平成19/02/26
	第26分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田800さ7850	平成17/11/11
	第26分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2602	平成21/03/16
	第26分団3部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2603	平成20/03/07
	第27分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	ラビット	B3	野田830た 28	平成18/08/18
	第27分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2702	平成21/03/16
	第27分団3部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2703	平成22/03/03
	第28分団1部	消防ポンプ車	ヒノ	モリタ	A2	野田830ち 32	平成18/01/26
	第28分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田800さ7847	平成17/11/11
	第29分団1部	消防ポンプ車	ヒノ	ネイチャー	A2	野田830す2901	平成23/02/08
	第29分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830さ2902	平成20/03/07
	第29分団3部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830す 37	平成19/02/26
第30分団1部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田830す3001	平成22/03/04	
第30分団2部	小型ポンプ付積載車	ニッサン	トーハツ	B3	野田800さ7848	平成17/11/11	

# 火災統計

---

# 1 火災の状況

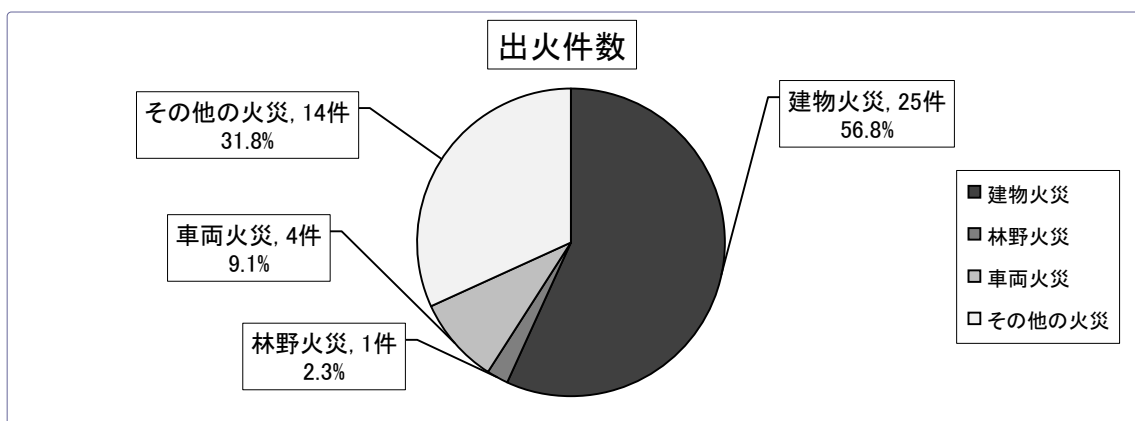
区 分	単 位	令和4年	令和3年	増 減	増減率
		(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(C) ÷ (B) × 100%
出 火 件 数	件	44	28	16	57.1
建 物		25	16	9	56.3
林 野		1		1	
車 両		4	2	2	100.0
そ の 他		14	10	4	40.0
焼 損 棟 数	棟	45	27	18	66.7
全 焼		13	6	7	116.7
半 焼		4	3	1	33.3
部 分 焼		13	9	4	44.4
ぼ や		15	9	6	66.7
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	2,311.31	1,186.51	1,124.80	94.8
建 物 焼 損 表 面 積		208.46	125.64	82.82	65.9
林 野 焼 損 面 積	a	0.40		0.40	
車 両 焼 損 台 数	台	19	5	14	280.0
その他の枯草焼損面積	㎡	2,514.46	44,329.00	△ 41,814.54	△ 94.3
死 者	人	1	3	△ 2	300.0
負 傷 者		15	6	9	150.0
り 災 世 帯 数	世帯	25	19	6	31.6
全 損		4	4		
半 損		5	1	4	400.0
小 損		16	14	2	14.3
り 災 人 員	人	61	29	32	110.3
損 害 額	千円	217,790	136,153	81,637	60.0
建 物		206,868	110,660	96,208	86.9
林 野					
車 両		4,242	1,907	2,335	122.4
そ の 他		6,680	23,586	△ 16,906	△ 71.7
出 火 率	件	2.8	1.8	1.0	55.6

- (注) 1 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。  
 2 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。  
 3 △は、負数を示す。

## 2 出火件数

### (1) 火災種別出火状況

種別	年別	令和4年		令和3年	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
建物火災		25	56.8	16	57.1
林野火災		1	2.3		
車両火災		4	9.1	2	7.1
その他の火災		14	31.8	10	35.7
合計		44	100.0	28	100.0

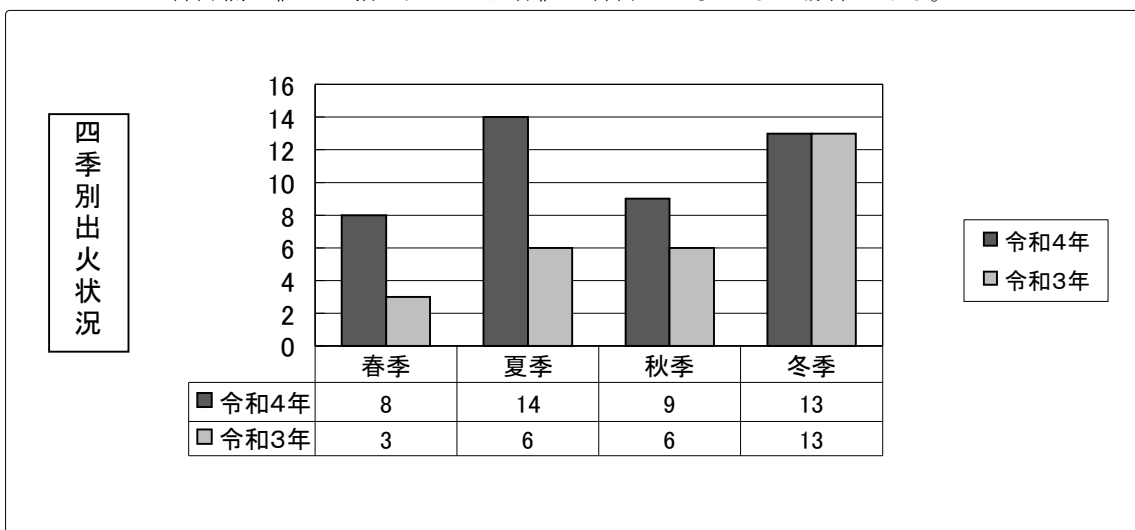


### (2) 四季別出火状況

季別	年別	令和4年				令和3年			
		出火件数	割合(%)	損害額(千円)	割合(%)	出火件数	割合(%)	損害額(千円)	割合(%)
春季 3月～5月		8	18.2	17,617	8.1	3	10.7	5,774	4.2
夏季 6月～8月		14	31.8	35,830	16.5	6	21.4	19,584	14.4
秋季 9月～11月		9	20.5	63,359	29.1	6	21.4	24,624	18.1
冬季 12月～2月		13	29.5	100,984	46.4	13	46.4	86,171	63.3
合計		44	100.0	217,790	100.0	28	100.0	136,153	100.0

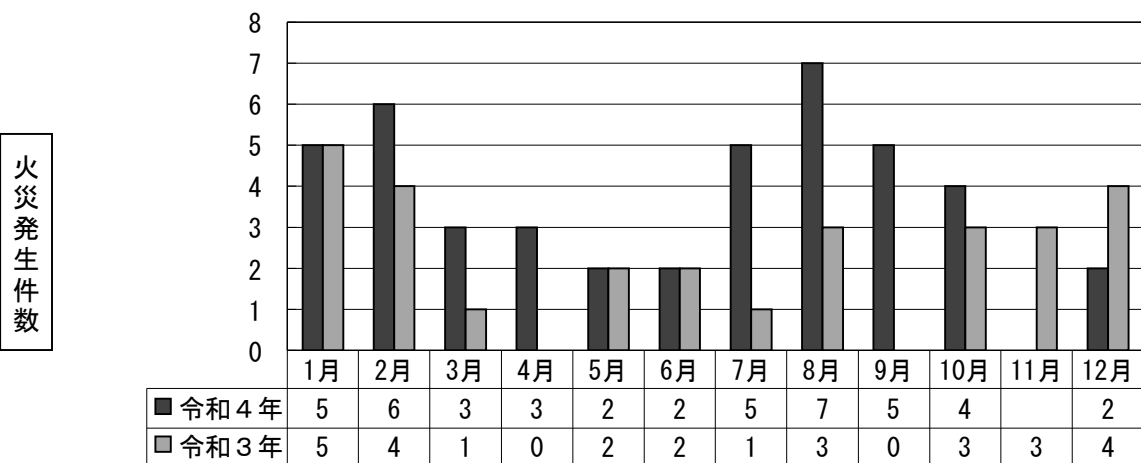
(注) 1 冬季の1月及び2月は、当該年の数値である。

2 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。



### 3 月別火災状況

種別		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出火件数		5	6	3	3	2	2	5	7	5	4		2	44
火災種別	建物	2	3	1	2	2		4	5	2	2		2	25
	林野						1							1
	車両			1			1			1	1			4
	その他	3	3	1	1			1	2	2	1			14
焼損棟数	火元建物	全焼		2		1			2	1			1	7
		半焼							1	1	1		1	4
		部分焼	1	1		1	2		1			1		7
		ぼや	1		1				2	3				7
	小計	2	3	1	2	2		4	5	2	2		2	25
類焼建物	全焼		3							3				6
	半焼													
	部分焼		2		2				2					6
	ぼや		3			1				4				8
小計		8		2	1			2	7				20	
合計		2	11	1	4	3		4	7	9	2		2	45
り災世帯数		1	8	1	3	2		2	4	2	1		1	25
り災人員		2	13	5	9	6		5	10	6	3		2	61
死者		1												1
負傷者		1	2	1	1				2	5			3	15
焼損面積	建物床面積(m <sup>2</sup> )	1.61	847.88		101.85			43.00	324.25	931.91	28.80		32.01	2,311.31
	建物表面積(m <sup>2</sup> )		71.73	0.90	24.88	62.88		18.38	18.91	6.82	3.96			208.46

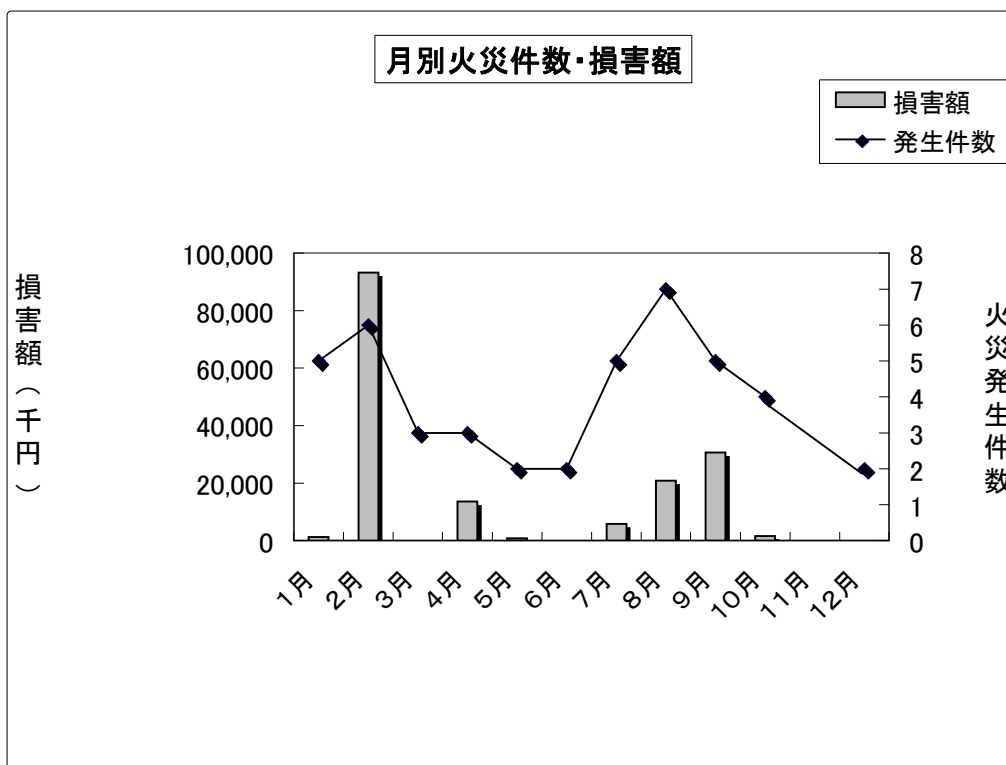




#### 4 火災による損害額

(単位：千円)

種別 月別	建 物			林	野	車	両	その他	月別合計
	建 築 物	収 容 物	小 計						
1月	333	952	1,285					330	1,615
2月	93,150	1,776	94,926				2,650		97,576
3月	8	10	18				450	590	1,058
4月	13,582	858	14,440						14,440
5月	753	1,366	2,119						2,119
6月							400		400
7月	5,796	1,463	7,259						7,259
8月	20,799	7,161	27,960				211		28,171
9月	30,681	23,289	53,970				250	5,760	59,980
10月	1,650	1,448	3,098				281		3,379
11月									
12月	42	1,751	1,793						1,793
計	166,794	40,074	206,868				4,242	6,680	217,790



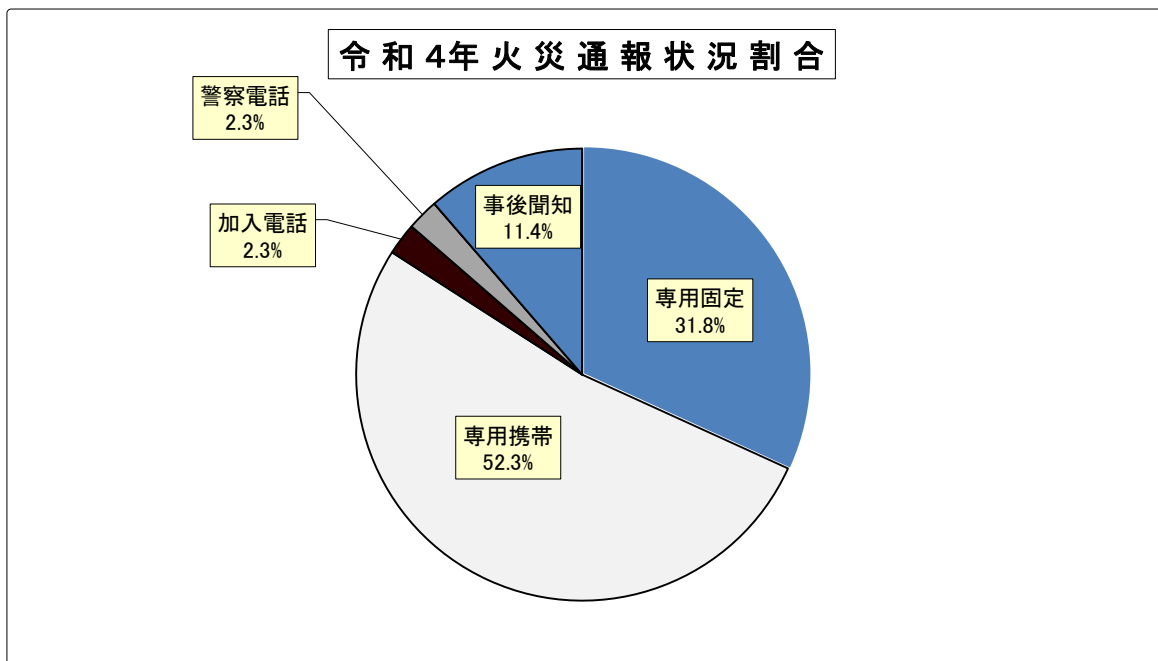
## 5 初期消火器具等の使用状況

年別 初期消火器具区分	令和4年			令和3年			令和2年		
	初期消火実施数			初期消火実施数			初期消火実施数		
	効果有り	割合(%)		効果有り	割合(%)		効果有り	割合(%)	
粉末消火器	12	6	50.0	9	4	44.4	10	4	40.0
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	10	3	30.0	9	7	77.8	18	11	61.1
もみ消した									
その他	6	3	50	1			4	2	50.0
合計	28	12	42.9	19	11	57.9	32	17	53.1
初期消火活動なし	16			9			5		

## 6 火災の通報状況

種別 区分	件数	専用電話		加入電話		警察電話	駆け付け	事後聞知	その他
		固定電話	携帯電話	固定電話	携帯電話				
建物火災	25	6	14	1		1		3	
林野火災	1		1						
車両火災	4	2	1					1	
その他の火災	14	6	7					1	
合計	44	14	23	1		1		5	

※ 専用電話(固定)にはNTT加入電話以外も含んでいます。

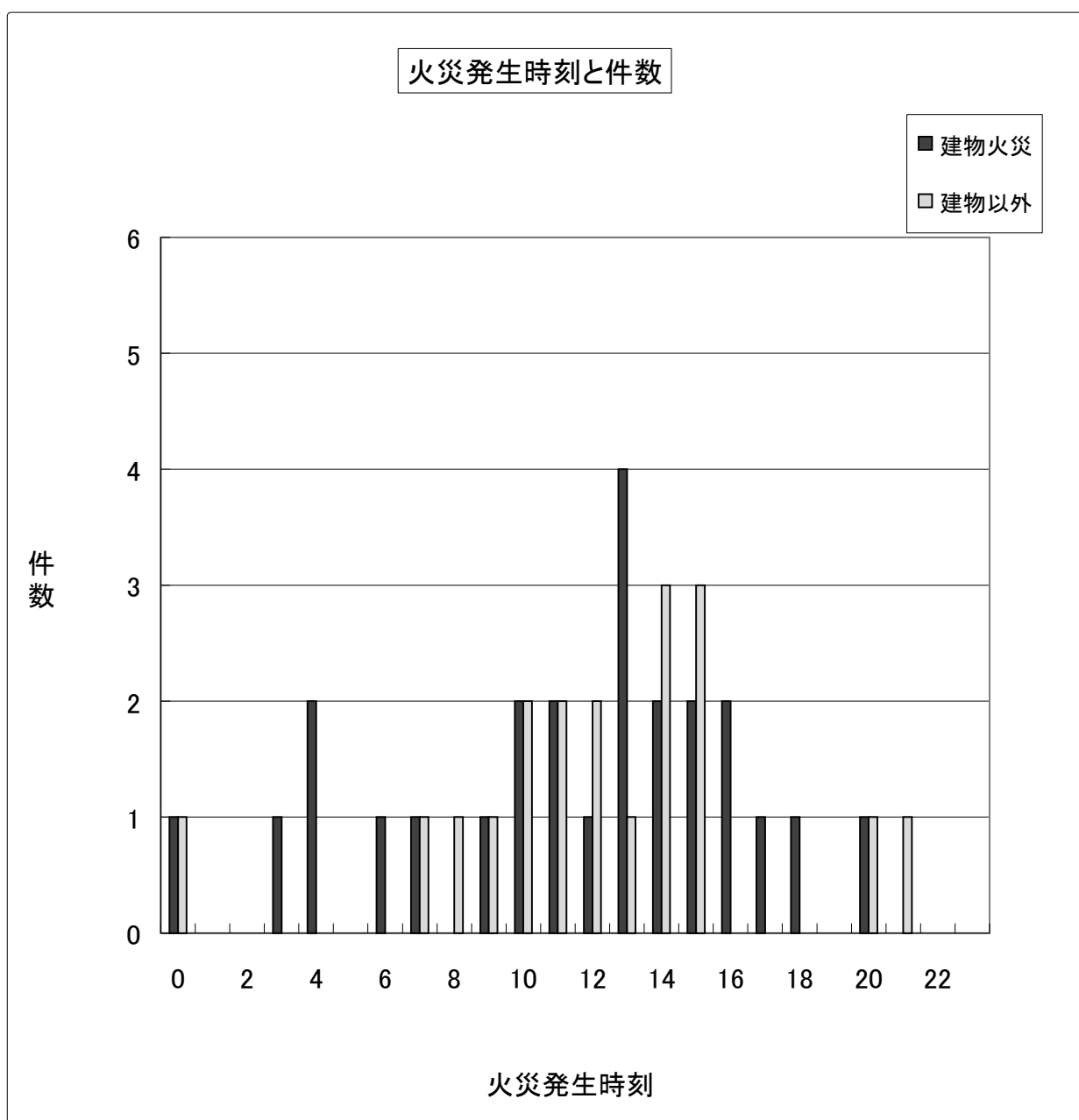


## 7 出火原因別状況

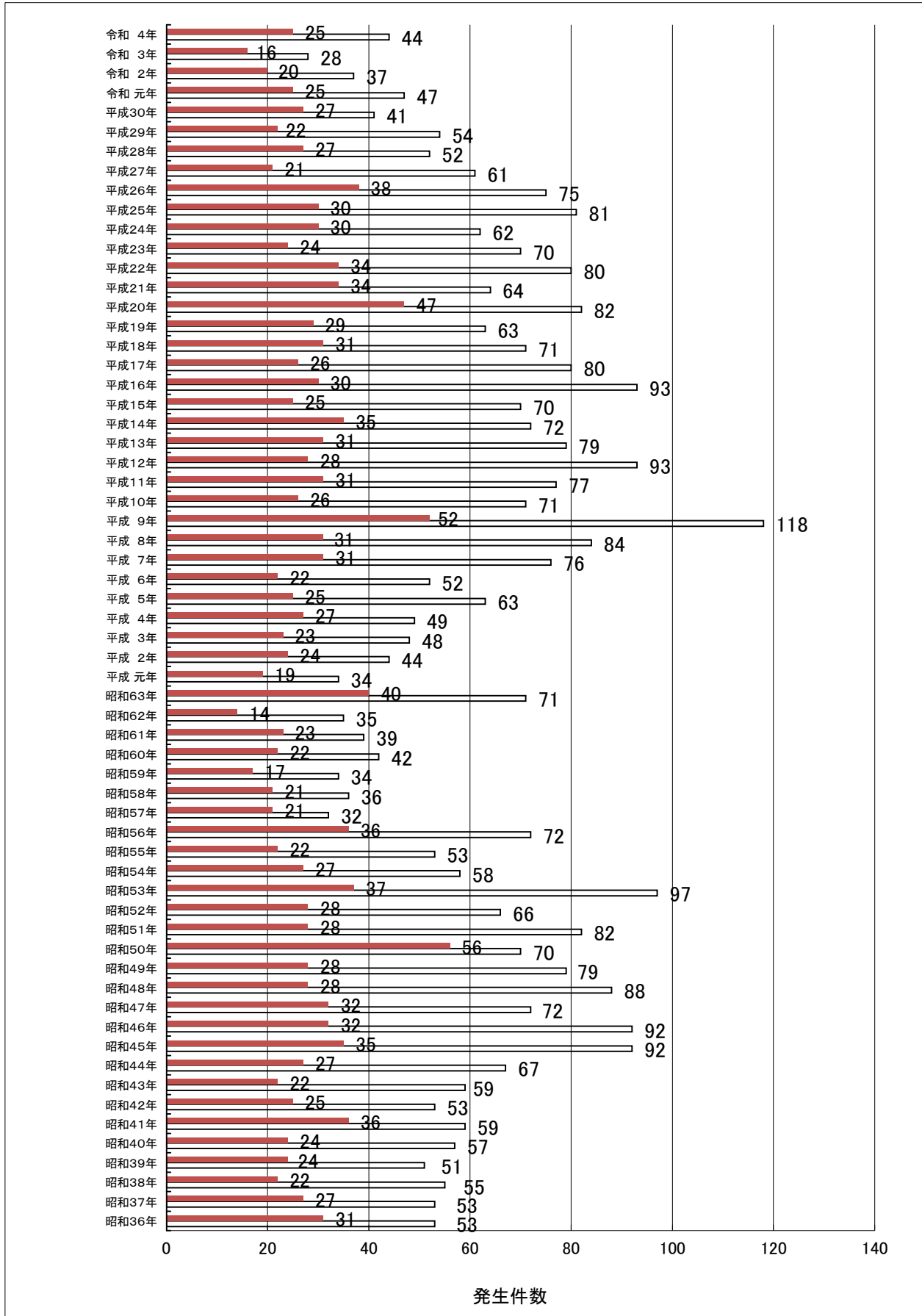
原因別	火災種別				計	月 別											
	建 物	林 野	車 両	そ の 他		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
たばこ	3	1		1	5		2			1	1	1					
たき火	2			3	5		2					1		1			1
配線・配線器具	2			2	4	1							1	1	1		
枯草焼き			1	3	4	1	1	1	1								
ガスストーブ コンロ	3				3	1		1	1								
電気機器	2				2							2					
放火（疑い含む）				1	1	1											
ハンドトーチ				1	1								1				
残り火の処理が不 充分				1	1										1		
その他の酸化性液体	1				1											1	
高温物が触れるその 他の高温の固体			1		1										1		
そ の 他	6		2	1	9	1				1	1	1	3	2			
不 明	6			1	7		1	1	1				2	1			1
合 計	25	1	4	14	44	5	6	3	3	2	2	5	7	5	4		2

## 8 火災発生時刻と件数

発生時刻（時）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計	
建物火災	1			1	2		1	1		1	2	2	1	4	2	2	2	1	1		1					25
建物以外	1							1	1	1	2	2	2	1	3	3					1	1				19



## 9 各年火災件数（色刷りは建物火災を表す）



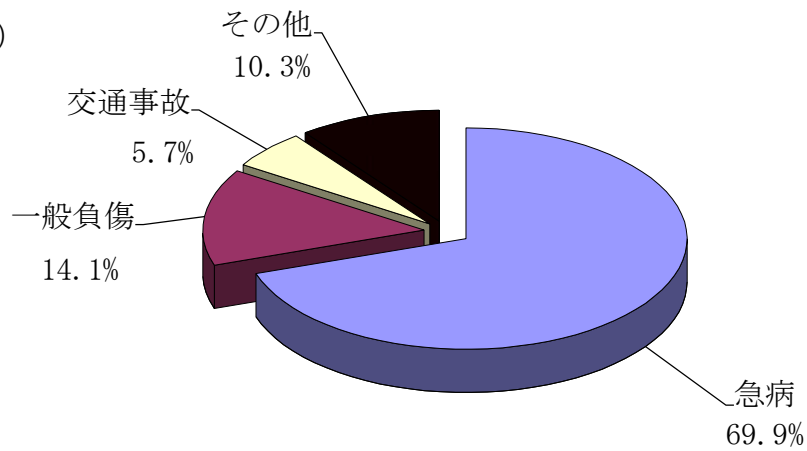
# 救急統計

---

# 1 救急出動件数

事故種別 月別	火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
	1月	6			44	4	1	126	7	1	502	54	745
2月	5			41	8		97	3	2	529	60	745	125
3月	4			48	8	1	102	2	5	503	57	730	103
4月	5			48	6	3	90	7	4	422	49	635	67
5月	2			34	4	3	127	4	11	463	52	701	86
6月	1		2	42	10	2	111	8	5	513	63	755	93
7月	3			54	7	2	111	9	5	687	47	925	131
8月	7		1	33	5	1	112	9	3	716	45	931	185
9月	11	1	2	41	15	5	105	3	8	483	68	740	118
10月	6		1	52	14	4	116	2	6	517	53	770	101
11月	1			49	7	1	102	3	4	520	55	742	107
12月	4			47	6	4	129	2	7	717	70	986	154
合計	55	1	2	533	94	27	1,328	59	61	6,572	673	9,405	1,357

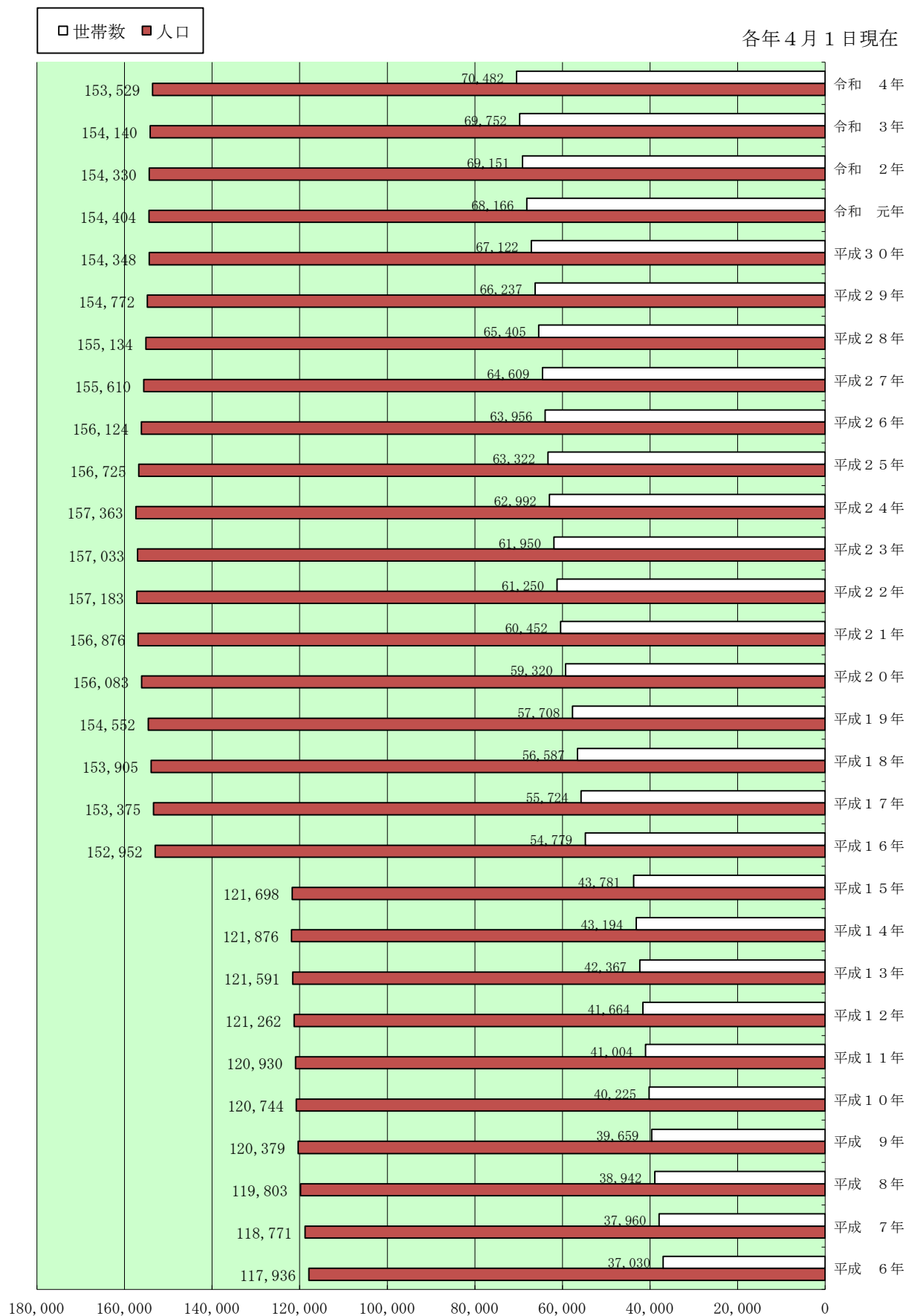
(事故種別)



※円グラフ『その他』は、急病・一般負傷・交通事故以外全ての事故種別を含む。

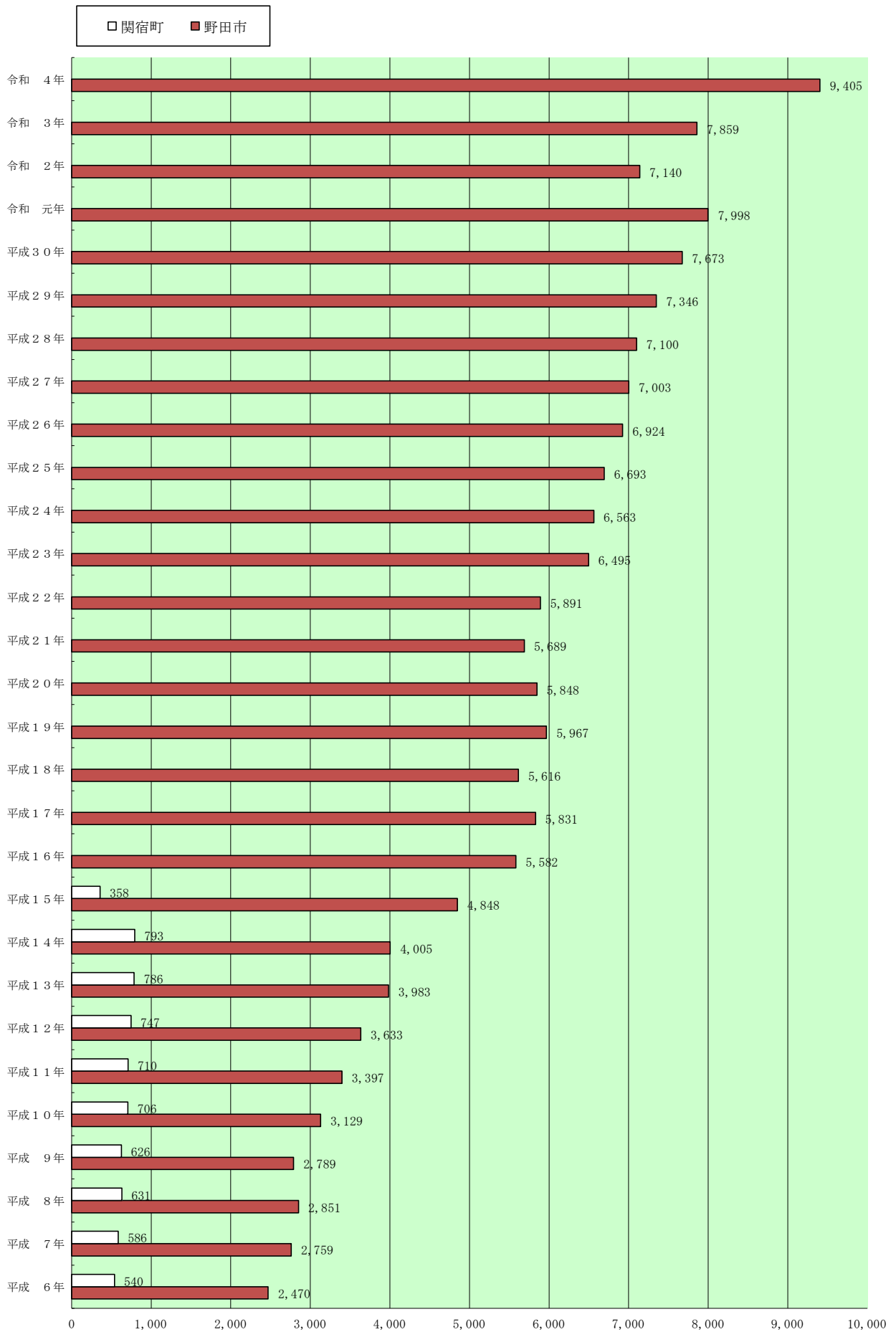
## 2 人口と救急件数の推移

### 人口と世帯数





# 救急出動件数

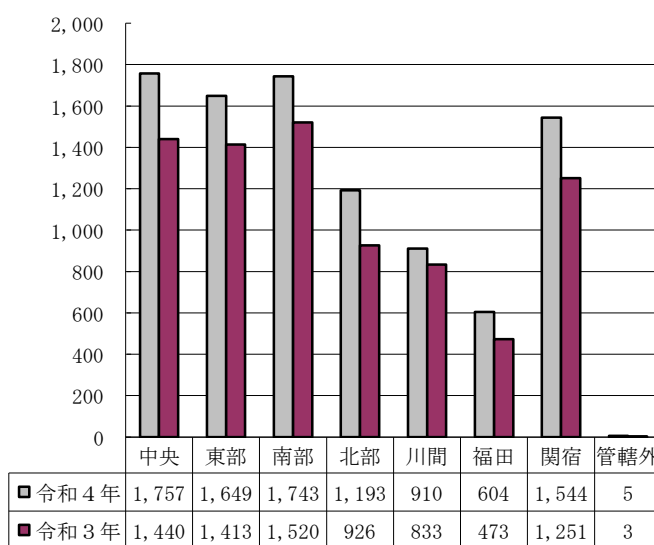


### 3 署所別救急出動件数

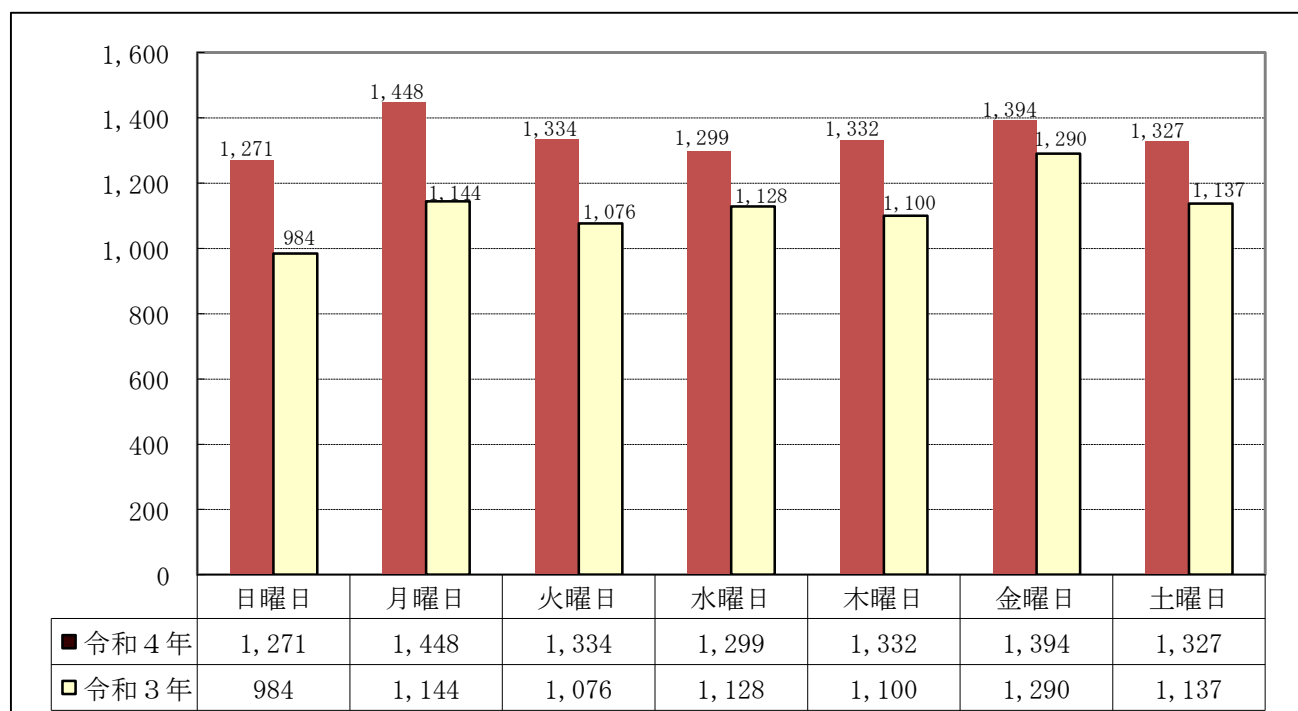
年 別 署所別	令和4年	構成比 (%)	令和3年	構成比 (%)
消 防 署	2,450	26.1	2,032	25.9
中 央 分 署	1,701	18.1	1,500	19.1
北 分 署	1,621	17.2	1,358	17.3
南 分 署	1,709	18.2	1,497	19.0
関 宿 分 署	1,206	12.8	984	12.5
関宿北出張所	718	7.6	488	6.2
計	9,405	100.0	7,859	100.0

### 4 区域別救急出動件数

区 分	令和4年	構成比 (%)
中央地区	1,757	18.7
東部地区	1,649	17.5
南部地区	1,743	18.5
北部地区	1,193	12.7
川間地区	910	9.7
福田地区	604	6.4
関宿地域	1,544	16.4
管轄外	5	0.1
計	9,405	100.0



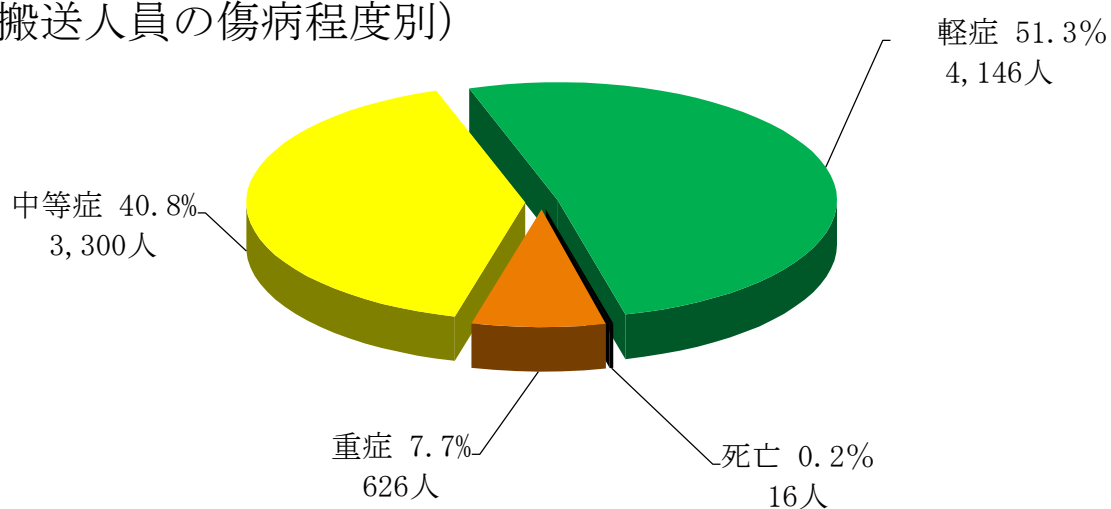
### 5 曜日別救急出動件数



## 6 搬送人員

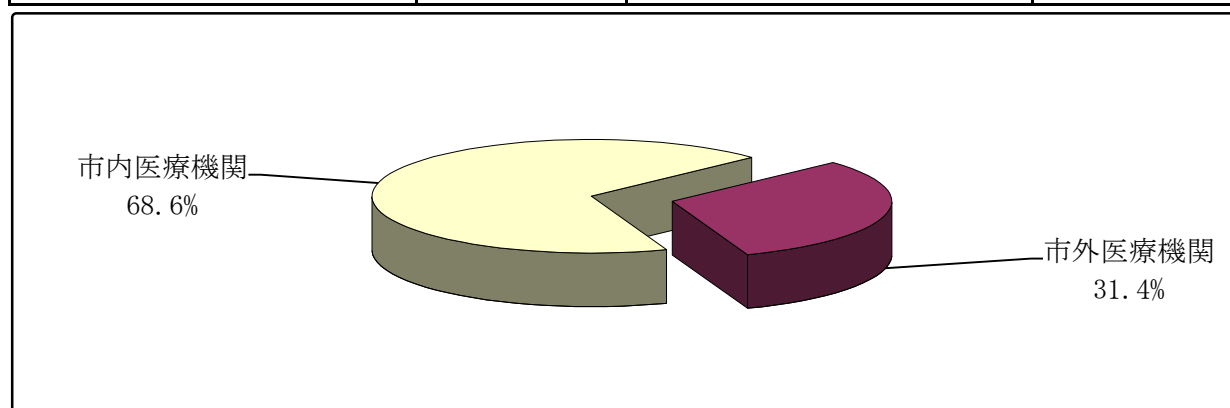
事故種別 月別	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	1			42	5	1	120	6	1	451	37	664
2月	2			31	9		95	1	2	438	43	621
3月	1			43	8	1	96	2	4	439	36	630
4月	1			50	5	2	80	6	5	389	34	572
5月				32	6	3	114	4	5	415	36	615
6月				36	9	2	105	7	3	458	45	665
7月				46	8	2	112	6	5	589	31	799
8月	2			33	6	1	107	3	2	571	27	752
9月	8			35	14	4	91	3	4	420	48	627
10月				45	13	4	105	3	5	463	33	671
11月				44	7	1	93	2	1	446	43	637
12月	3			46	6	3	120	1	4	599	53	835
合計	18			483	96	24	1,238	44	41	5,678	466	8,088

(搬送人員の傷病程度別)



## 7 医療機関別搬送人員

市 内		市 外	
小張総合病院	3,863 人	柏たなか病院	753 人
キッコーマン総合病院	990 人	東京慈恵会医科大学附属柏病院	319 人
野田病院	647 人	茨城西南医療センター病院	142 人
東葛飾病院	16 人	東葛病院	143 人
野田中央病院	20 人	おおたかの森病院	190 人
門倉医院	0 人	松戸市立総合医療センター	77 人
その他	13 人	その他	915 人
合 計	5,549 人	合 計	2,539 人



## 8 年齢別搬送人員

区 分	令和4年	構成比 (%)	令和3年	構成比 (%)
新生児 (生後28日以内)	14	0.2	11	0.2
乳幼児 (生後29日以上7歳未満)	354	4.4	223	3.2
少 年 (7歳以上18歳未満)	245	3.0	200	2.8
成 人 (18歳以上65歳未満)	2,222	27.5	1,978	28.1
老 人 (65歳以上)	5,253	64.9	4,630	65.7
計	8,088	100.0	7,042	100.0

## 9 講習会実施状況

種 別	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
普通救命講習	実施回数	0	0	0	2	7	5	13	0	1	5	8	1	42
	受講者数	0	0	0	19	96	50	105	0	10	31	50	10	371
一般応急手当	実施回数	0	0	0	0	1	18	6	0	7	11	20	4	67
	受講者数	0	0	0	0	10	311	342	0	984	434	1,336	120	3,537

救 助・その他

## 1 月別救助出動状況

月 別 事故種別	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火 災													
交 通 事 故	1	3	4	2	3	4	2	1	3	1	3	3	30
水 難 事 故				1							1		2
風水害等自然災害事故									1				1
機 械 に よ る 事 故			1						1				2
建 物 等 に よ る 事 故	3	2	5	2	5	5	3	3	2	2		6	38
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故					1				2				3
破 裂 事 故													
そ の 他 の 事 故	3	2	2	3	2	5	8	7	4	4	6	3	49
計	7	7	12	8	11	14	13	11	13	7	10	12	125

## 2 事故種別活動状況

区 分 事故種別		火	交	水	風自然	機	建	ガ酸	破	そ	合
		災	通	難	水自然	械	物	ス欠	裂	の	計
		故	事	事	害事	に	等事	及事	事	他	
		故	故	故	等故	よ故	に故	び故	故	の故	計
出 動 件 数			30	2	1	2	38	3		49	125
活 動 件 数			6	2	1	2	34	2		6	53
救 助 人 員			7	1	2	2	34	2		7	55
救 出 者 傷 病 程 度 別	死 亡						11	2			13
	重 症		1	1		1	1			1	5
	中 等 症		4				9				13
	軽 症		2				5			2	9
	負傷なし				2	1	8			4	15

### 3 その他災害出動

#### (1) 種別件数

種 別 \ 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
救急支援	91	81	74	76	64	57	112	108	52	68	70	128	981
野焼き	7	4	6	5	5	6	4	7	8	9	10	14	85
へり離着陸確保	3	3	3	2	2	3	4	3	2	4	1		30
火災と紛らわしい現象			1										1
焼却放置	1			1	1		1						4
危険排除	4	3	1		3	2	4	5	3	4	2	2	33
公共作業				1	1							1	3
再燃警戒	4	3	2	2	1	1	1	4	3	3		2	26
管外応援出場			1	1	1			2				1	6
いたずら等		1			1					1		1	4
誤認・誤報	5	6		4	1		2	1	4	3	5	1	32
非火災	1	1	3	1	1		1	1	1	1	1	1	13
火災報知設備の発報	2	2	1	5	3	4	9	1	8	5	6	4	50
風水害等の災害								1	3				4
その他	6	3	3		5	5	2	1	2	10	8	15	60
合 計	124	107	95	98	89	78	140	134	86	108	103	170	1,332

#### (2) 署別件数

署所別 \ 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
消 防 署	26	14	18	14	16	14	26	32	15	22	20	32	249
中 央 分 署	25	16	14	22	18	12	28	28	16	19	23	29	250
北 分 署	24	30	20	24	13	11	25	22	19	22	22	30	262
南 分 署	26	22	19	25	25	20	29	33	18	26	20	42	305
関 宿 分 署	21	22	24	9	16	19	29	17	17	18	15	31	238
関宿北出張所	2	3		4	1	2	3	2	1	1	3	6	28
合 計	124	107	95	98	89	78	140	134	86	108	103	170	1,332

# 通信指令

---



## 1 通信指令装置の機器構成

項	機器名称	装置名
1	指令装置	①署所端末装置
		②データ指令端末装置
		③データ指令地図端末装置
		④カラープリンター
2	指令電送装置	①指令情報出力装置
		②指令書端末
		③署所間N/W機器
3	気象情報収集装置	①データロガー
		②観測センサー
4	出動車両運用管理装置	①車両運用端末装置Ⅲ型
		②車外設定端末装置
5	災害状況等自動案内装置	
6	電源設備	①本部 無停電電源装置 (5KVA)
		②署所 無停電電源装置 (1.5KVA)
7	避雷設備	①高速電源避雷器
		②高速回線避雷器
8	駆込み通報装置	
9	災害情報表示板	①端末 (情報共有システム相乗り)
		②DVDレコーダー
10	消防情報共有システム	端末 (メンテナンス用)
11	消防OAシステム	①サーバ
		②端末 (消防OAのみ)
		③端末 (情報共有システム相乗り)
		④プリンタ
		⑤ソフト (PKG+SE費)
		⑥複合機
		⑦署所間N/W機器
12	IP告知放送設備	①送信設備
		②受信機
13	ウイルス対策	①サーバ
		②端末 (検疫)
		③ソフト

## 2 消防用無線電話配置状況

配置署所名	M C A (局)	400MHz帯	260MHz帯		
		署活系 (局)	無線種別・呼出名称		携帯呼出名称
消防本部 (市役所)	-	-	基地局	遠制野田消防	-
消防署 (通信室)	-	-	卓上型	野田消防 1	-
消防本部	1	2	車載型	野田予防 1	-
			車載型	野田警防 1	-
消防署	3	13	車載型	野田指令 1	-
			車載型	野田指揮 1	野田 1 0 5
			可搬型	野田本部 1 (指揮隊)	-
			車載型	野田水槽 1	野田 1 0 1
			車載型	野田水槽 2	野田 1 0 2
			車載型	野田災対 1	-
			車載型	野田大型水槽 1	-
			車載型	野田救助 1	野田 1 0 3
			車載型	野田梯子 1	-
			車載型	野田救急 1	野田 1 0 4
			車載型	野田救急 2	野田 1 0 6
中央分署	2	7	車載型	野田中央水槽 1	野田 2 0 1
			車載型	野田中央水槽 2	野田 2 0 2
			車載型	野田中央救急 1	野田 2 0 3
			車載型	野田中央災対 1	-
北分署	2	7	車載型	野田北化学 1	野田 3 0 3
			車載型	野田北水槽 1	野田 3 0 1
			車載型	野田北救急 1	野田 3 0 2
南分署	2	4	車載型	野田南水槽 1	野田 4 0 1
			車載型	野田南救急 1	野田 4 0 2
			車載型	野田南災対 1	-
関宿分署	3	6	車載型	野田関宿指揮 1	野田 5 0 4
			車載型	野田関宿水槽 1	野田 5 0 1
			車載型	野田関宿救助 1	野田 5 0 3
			車載型	野田関宿ポンプ 1	-
			車載型	野田関宿災対 1	-
			車載型	野田関宿救急 1	野田 5 0 2
			車載型	野田関宿救急 2	-
関宿北出張所	2	4	車載型	野田関宿北水槽 1	野田 5 0 5
			車載型	野田関宿北救急 1	野田 5 0 6
署合計	15	43	34		20
消防団 (5 6 分団)	56	-	※受令機 6 3		-

### 3 119番通報受信件数

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	9	40	16	7	7	4	8	15	28	9	3	6	152
	7	28	13	5	7	2	5	11	19	7	3	4	111
救急	706	694	699	582	664	732	887	901	702	724	712	966	8,969
	322	325	320	304	333	369	472	481	356	400	375	483	4,540
救助	5	4	9	3	7	7	5	7	5	2	4	7	65
	4	4	6	2	4	4	3	4	4	1	4	4	44
その他災害	8	9	5	4	6	7	8	3	4	4	6	14	78
	4	6	3	2	4	7	2	2	3	2	3	8	46
問合せ	28	30	21	14	27	26	41	46	37	25	32	32	359
	13	19	15	9	19	15	26	29	27	16	20	21	229
病院照会	13	11	8	10	17	19	22	34	14	22	21	32	223
	10	9	6	8	15	16	15	25	9	17	17	26	173
間違い	27	19	23	20	24	20	37	33	24	23	28	35	313
	20	10	19	12	17	14	31	26	22	15	21	26	233
いたづら	1			1	1	1	2	1	1	2	1	2	13
							1		1				2
試験通話	1	5	9	1	4	3	3	5	3	9	10	2	55
		1					1	1			1		4
その他	86	80	84	96	89	92	134	138	118	97	89	115	1,218
	57	48	47	45	55	48	78	76	76	53	47	63	693
合計	884	892	874	738	846	911	1,147	1,183	936	917	906	1,211	11,445
	437	450	429	387	454	475	634	655	517	511	491	635	6,075

※ 上段数値は、119番電話受信件数です。

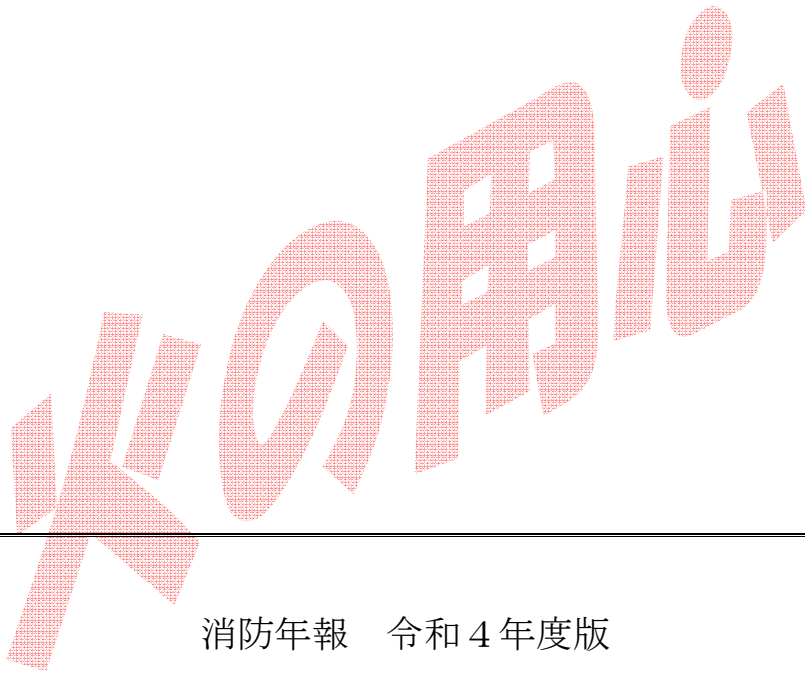
※ 下段数値は、上段件数の内携帯電話受信件数です。

※ 衛星電話は、携帯電話に含まれる。

#### 4 各種気象情報等受理状況

(千葉県防災行政無線による気象情報)

種別		月別												合計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
火災警報															
火災気象通報		37	40	25	12	5	3	6	10	5	15	14	30	202	
警	大雨								1	3				4	
	洪水									1				1	
	大雪	1												1	
	暴風														
報	暴風雪														
	大雨				2	2	2	5	3	6	1			21	
注	洪水					2	1	2	1	2				8	
	大雪	2	2											4	
	強風	4	3	10	4	2	2	4	3	1	4	4	7	48	
	風雪		2											2	
	雷			14	7	6	7	11	10	7	6	7	2	77	
	濃霧	2		9	12	13	9	12	11	8	3	10	11	100	
	乾燥	4	3	23	3	1					1	1	15	51	
	着氷・着雪	1	2												3
	霜		4	11	1										16
	低温														
情	地震	17	16	15	13	13	2	14	15	7	4	10	4	130	
	台風								10	13				23	
	気象	7	13	12	10	12	12	22	18	5	7	8	8	134	
	土砂災害警戒														
	竜巻	2			2		1		8					13	
	津波	24		10		1	1							36	
報	熱中症警戒アラート						1	2	9					12	



消防年報 令和4年度版

令和5年5月	発行
編集・発行	野田市消防本部総務課
郵便番号	278-0005
住所	千葉県野田市宮崎126番地の2
T E L	04-7124-0119 (代表)
F A X	04-7124-3416
E-mail	syousoumu@mail.city.noda.chiba.jp syousoumu@city.noda.lg.jp(LGWAN)